

平成 22 年度
佐渡市教育委員会

佐渡学センタ一年報

第 2 号

平成 23 年 3 月

佐渡市教育委員会 社会教育課 佐渡学センター

佐渡学センタ一年報

この年報の著作権は佐渡市教育委員会に帰属します。ただし、画像などは、所有者や執筆者に著作権があるものがあります。著作権法上の「私的利用」や「引用」の範囲を超えて使用する場合には、佐渡学センターまでお問い合わせください。ただし、掲載資料の使用に際して発生した障害には、佐渡市教育委員会は一切の責任を負いません。

ごあいさつ

佐渡学センター 所長 渡邊 剛忠

佐渡が一市になって7年が経過しました。

この間、私たちは旧市町村が育くみ、蓄積してきた佐渡固有の歴史・文化・自然等の調査・研究や情報等の見直しを図ると共に、その活用を図るために新たな事業の展開に着手してきました。

平成22年度佐渡学センターで取り組んできた2、3の事業について記してみたいと思います。

[新潟大学との連携協定事業]

平成22年3月佐渡市教育委員会は新潟大学人文学部と研究や教育等の交流を一層進めるために連携協定を締結しました。その記念事業として、8月にはシンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」の開催、10月には新潟大学人文学部長關尾史郎氏の記念講演、そして同学部教授の鈴木孝庸氏や池田哲夫氏の研究発表を中心とした佐渡学セミナーが開催されました。いずれの会も佐渡市と大学が協力して、佐渡学の調査・研究を深めると共に講演会や報告会の開催、報告書の刊行等を通して佐渡の子どもたちや市民にその成果を還元していくこうとするものです。

他に日本映像民俗学の会による佐渡大会～地域映像アーカイブ2010～の開催、池田哲夫民俗学教室における佐渡市徳和調査報告会が実施され、大学との連携をさらに深めることができました。

[ジオパーク推進事業]

今年度、佐渡学センターでは、市政方針の一つである「佐渡を世界ジオパーク認定に」向けた事業の取り組みにあたってきました。

1年を通して、関係職員の熱心な取り組みが展開され、今年の1月には「ジオパーク協議会設立準備会」が設置されました。

その事業の一つである全10回にわたる「佐渡ジオパーク市民講座」では、募集人数の2倍の50数

人が受講を希望し、講座、実習、現地研修に積極的に取り組みました。

身近な露頭や化石等の観察により、金銀鉱脈や日本海の形成、佐渡島の誕生の変遷をたどる等、大地のロマンのすばらしさが実感されています。また、受講を終えて開催されたミニシンポジウム「佐渡ジオパークとはなにか」では、ジオパークの三要素である、資源の保護、教育活動、そしてジオツーリズム（大地や自然の見学旅行）が取り上げられ意義深い会となりました。

こうした事業の他、佐渡市文化振興ビジョンの策定、博物館協議会による「博物館・資料館の将来的なあり方」の検討、各博物館における企画展などの継続事業や世界文化遺産推進と佐渡ジオパークの接点の追求など、佐渡市が展開している他の分野の事業等との相乗効果が図られるような検討が進められています。

今後はさらに、時代の要請に応えることのできる「佐渡学」の調査・研究をすすめると共に既存の多くの資料と情報のデジタルアーカイブ化をさらに進め、すばらしい資源を有する佐渡の情報発信、資料等の活用につとめていきたいものです。

終わりにあたり、平成22年度佐渡学センター年報の刊行にご尽力いただいた皆さんに心から感謝を申し上げます。

本稿を執筆中に、東北関東大震災が発生しました。津波の大きさや原子力発電所の放射能漏れなど、信じられない光景が報道されています。

佐渡市が取り組みを開始する「ジオパーク推進事業」を「防災教育」にどのように生かしていくか、早急に取り組む大切さを実感しています。

一人でも多くの人命が救われますよう祈らざるを得ません。

目 次

Contents

刊行にあたって	… 1
I 佐渡学センター設置までの経緯	… 3
II 管理運営の状況	… 4
1 組織	… 5
2 事務分掌	… 10
3 施設の状況等	
4 平成 22 年度入館者の状況	
III 事業内容	… 11
1 文化・学芸事業内容	
1.1 常設展示	
1.2 企画展示	
1.3 収集保管事業	
1.4 調査研究事業	
1.5 ジオパーク推進事業	
1.6 支援・助成事業	
1.7 新潟大学人文学部等関連事業	
1.8 刊行物	
1.9 イベント	
1.10 その他	
2 交流普及事業概要	… 22
2.1 講演等	
2.2 体験コーナー	
2.3 観察・団体受け入れ状況	
2.4 出前授業	
3 職場体験	… 24
4 学芸員実習受け入れ	… 24
IV 関係団体	… 25
1 佐渡市博物館協議会	
2 佐渡植物園協議会	
3 佐渡とき保護会	
V 受贈・購入図書	… 25
VI 日誌抄	… 35
VII 佐渡に関する図書・論文目録 平成 22 (2010) 年分	… 40
編集後記	

I 佐渡学センター設置までの経緯

1 沿革

【平成 16 年度】

佐渡伝統文化研究所を設立することを佐渡市長が表明する。

【平成 17 年度】

佐渡伝統文化研究所準備室を佐渡市教育委員会生涯学習課に設置した。

準備室室長 木下 勉
情報指導員 池田 雄彦
準備室係長 北見 繼仁
主 事 山口 忠明
主 事 渡邊 智美

佐渡市長の平成 17 年度『施政方針』で、「研究所の基本理念」として、「佐渡の歴史と文化を再認識し、有形無形の歴史・文化資産を保護継承し、子々孫々まで残していくことは現代に生きる私たちの責務であると考えます。そのため、島内の研究者や伝統技術・技能の伝承者を集め、貴重な資料の散逸を防ぎ、専門の研究機関を設置することで、各地に残る貴重な資産・資料把握、保存整理研究が行える『佐渡伝統文化研究所』（仮称）の設立を行い伝統文化の継承に努めます。」と表明する。

【平成 18 年度】

佐渡伝統文化研究所準備室を佐渡市教育委員会文化振興課内に設置した。

準備室室長 菊池 克己
情報指導員 池田 雄彦
準備室係長 北見 繼仁
主 事 鹿取 渉

【平成 19 年度】

佐渡伝統文化研究所を佐渡市教育委員会世界遺産・文化振興課内に設置した。設置場所は、梅津の佐渡市中央公民館から両津湊の佐渡市役

所両津支所 3 階に移動する。

所 長 石瀬 佳弘
次 長 高藤一郎平
情報指導員 池田 雄彦
係 長 北見 繼仁
主 事 滝川 邦彦

設立趣旨を、「佐渡は、古くから島外の文化を受け入れながら島独自の文化を形成し、貴重な民俗芸能や伝統的な行事なども継承されている。また、多様な地形や植生・地質など、自然環境にも恵まれている。このような文化遺産や自然環境は島内外の人々にとって大きな魅力となっているが、十分な調査や保存が行われているとは言えない状況にあった。

このような貴重な文化遺産の価値を島民に十分理解してもらい、その調査と保存・活用を図るべく、佐渡伝統文化研究所準備室を設置してその任に当たって来た。本年度から本格的に活動を目指して正式な『佐渡伝統文化研究所』を設立した。今後は、貴重な資料の散逸を防ぎ、データを集積して広く情報を発信しながら島民の皆さんは勿論、佐渡を訪れる多くの方々に利用して頂けるように務めたいと考えている。」として掲げ、活動を開始した。

【平成 20 年度】

重点施策として、「佐渡伝統文化研究所の体制づくりの推進及び佐渡の歴史・文化・自然に関する調査・研究とデータベース化、デジタルアーカイブ化の構築」とした。

所 長 石瀬 佳弘
次 長 北見 繼仁
情報指導員 池田 雄彦
主 事 滝川 邦彦
研究員補助 八木千恵子

【平成 21 年度】

研究所の機能を拡充強化することによって、地域学の拠点化を図るために、「佐渡伝統文化研究所」の名称を「佐渡学センター」に改称し、組織体制として新たに文化・学芸係を置き、佐渡島内の博物館・資料館管理運営及び学芸業務も統合した。また事務所も両津郷土博物館内に設置した。

【重点施策】

- 伝統芸能を始め、歴史・文化遺産の保存、継承、活用は、重要な課題であり、平成 21 年度は市民と協力して、基本方針となる文化振興ビジョン策定に取り組む。
- 伝統と魅力ある地域文化の保存・継承を目的として、佐渡の歴史・文化・自然等に関する研究や情報発信、資料のデータベース化を行う。
- 地形や地質など自然遺産が豊富な島である「佐渡」を、国内はもとより広く世界に紹介できるよう、大学等の関係機関との連携を図りながら、ジオパークとして国際認定を受けるための準備を進める。

所長	石瀬 佳弘
次長	北見 繼仁
情報指導員	池田 雄彦
文化・学芸係長	野口 敏樹
主事	山口 忠明
主事	宇治 美徳
主事	須藤 洋行
主事	滝川 邦彦

II 管理運営の状況

【佐渡学センター運営方針】

- ・佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。
- ・伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。
- ・ジオパーク認定を目指した取り組みを進める。
- ・新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

【博物館・資料館（文化芸術）運営方針】

- ・佐渡の歴史・文化・自然に関するレファレンス業務の推進と博物館・資料館所蔵品のデータベース化を進める。
- ・特別展、企画展の開催と講座・教室・講習会の拡充を図る。
- ・博物館・資料館の統合再編を進め、より充実した体制による振興を図る。

○文化振興ビジョン策定事業

○佐渡市の文化振興の基本方針となる文化振興ビジョンの策定に、市民と協働で取り組む。

○調査研究事業

○佐渡島内に所在する有形・無形の文化財の調査・研究を行い、その成果を情報発信する。

○伝統文化等保存支援事業（補助事業）

○佐渡島内の伝承されている伝統芸能等の後継者・保持団体等の活動にたいして補助事業等を実施し、伝統文化の継承・育成・保存を図る。また、指定文化財の修復事業を行い保護を図る。

○博物館管理運営事業

○歴史・民俗資料館管理運営事業

○それぞれの博物館・資料館が特徴をいかしながら連携し、佐渡の歴史・文化・自然を広く市民・研究者・観光客に紹介し、情報発信を行う。

○佐渡の歴史・文化・自然に関するレファレンス業務

○佐渡ジオパーク推進事業

○新潟大学人文学部関連事業

平成 22 年に連携協定を結んだ新潟大学人文学部等との協働事業を進め、その成果の情報発信を行う。

1 組 織

所長	渡邊 剛忠
次長	北見 繼仁
情報指導員	池田 雄彦
ジオパーク推進員	神蔵 勝明
文化・学芸係長	野口 敏樹
主任	宇治 美徳
主任	滝川 邦彦
主任	山口 忠明
主任	須藤 洋行
雇員	本間 裕亨（研究員補助員）
雇員	宇田美智子（相川郷土博物館）
雇員	佐々木妙子（佐渡国小木民俗博物館）
雇員	石塚しのぶ（史跡佐渡奉行所跡）
雇員	佐々木さゆり（史跡佐渡奉行所跡）
雇員	大地 仁子（史跡佐渡奉行所跡）
雇員	渡辺 啓子（史跡佐渡奉行所跡）
雇員	橋本けい子（史跡佐渡奉行所跡）
	（～平成 22 年 6 月 30 日）
雇員	河村 厚子（史跡佐渡奉行所跡）
雇員	山本加奈子（相川技能伝承展示館）
雇員	山本 悅子（相川技能伝承展示館）
雇員	石見 真理（相川技能伝承展示館）
雇員	小杉 栄枝（相川技能伝承展示館）
雇員	米津サチエ（相川技能伝承展示館）
雇員	中村 政春（佐渡国小木民俗博物館）
雇員	若林 央子（両津郷土博物館）：
	平成 22 年 8 月 1 日～平成 23 年 1 月 31 日）
員	計良 正昭（両津郷土博物館）：
	平成 22 年 9 月 1 日～平成 23 年 2 月 28 日）
員	村川 京子（佐渡国小木民俗博物館）：
	平成 22 年 8 月 1 日～平成 23 年 1 月 31 日）

2 事務分掌

担当事務		主任	副任
センターの事務の総括に関すること。		次長 北見 繼仁	係長 野口 敏樹
1 佐渡学センターの総合施策に関すること。		所長 渡邊 剛忠	次長 北見 繼仁
1 佐渡学センター、博物館、及び資料館に関するネットワーク化に関すること。		次長 北見 繼仁	係長 野口 敏樹 嘱託職員 池田 雄彦
1 佐渡学センターの総合施策に関する調査、研究、報告、及び情報発信に関すること。			係長 野口 敏樹 嘱託職員 池田 雄彦
2 佐渡の歴史、文化、及び自然に関するデジタルデータベース化に関すること。		次長 北見 繼仁	
3 佐渡学センターのホームページに関すること。			嘱託職員 池田 雄彦
1 佐渡学センターの庶務に関すること。			
2 北中学校収蔵庫の管理に関すること		主任 滝川 邦彦	主事 須藤 洋行
1 佐渡学センターの予算管理に関すること。		主事 山口 忠明	主任 宇治 美徳 主事 須藤 洋行
2 佐渡市博物館協議会に関すること。		係長 野口 敏樹	次長 北見 繼仁
3 世界遺産登録推進の資料展示に関すること。			
1 両津郷土博物館の管理運営に関すること。			
2 両津郷土博物館の学芸業務に関すること。		係長(学芸員) 野口 敏樹	主任 滝川邦彦 主事 須藤 洋行 雇員 本間 裕亨
3 博物館、資料館のデジタルデータベース化に関すること。			
1 相川郷土博物館の管理運営及び学芸業務に関すること。			
2 相川技能伝承展示館の管理運営に関すること。		主事 山口 忠明	主任(学芸員) 滝川 邦彦 主事 須藤 洋行 雇員 宇田 美智子
3 史跡佐渡奉行所跡の管理運営に関すること。			
4 相川文書館に関すること。			
1 佐渡国小木民俗博物館の管理運営に関すること。			
2 海運資料館、考古資料館、及び幸丸展示館の管理運営に関すること。		主任(学芸員) 宇治 美徳	係長 野口敏樹 雇員 佐々木 妙子
3 「白山丸友の会」に関すること。			
1 佐渡植物園の管理運営に関すること。		主任(学芸員) 宇治 美徳	次長 北見 繼仁
2 佐渡植物園協議会に関すること。			係長 野口 敏樹
1 新穂歴史民俗資料館、金井歴史民俗資料館、及び明治紀念堂 (開尊館) の管理運営に関すること。		主事 須藤 洋行	主任(学芸員) 滝川 邦彦
1 博物館資料等のデジタルアーカイブに関すること。		次長 北見 繼仁	嘱託職員 池田 雄彦
2 学術リポジトリに関すること。			
1 ジオパーク推進に関すること。		係長 野口 敏樹	嘱託職員 池田 雄彦 非常勤特別職 神藏 勝明 次長 北見 繼仁

3 施設の状況等

3.1 両津郷土博物館

事業名 社会教育施設等整備費補助金

建設年度 昭和 56 年度



3.1.1 施設概要

場 所 佐渡市秋津 1596

敷地面積 49,590 m²

建築面積 1,373.59 m²

構造・階数 鉄筋コンクリート造 2階建、地下 1 階

駐車場 約 50 台

3.1.2 総事業費

515,912 千円

3.2 相川郷土博物館

事業名 相川小学校 80 周年記念事業

開館年度 昭和 31 年度



3.2.1 施設概要

場 所 佐渡市相川坂下町 20

敷地面積 (総面積) 3,150 m²

建築面積 (総面積) 1,055.16 m²

構造・階数 木造平屋建 (一部 2 階建)

御料局佐渡支庁跡 (2 階建) 172.24 m²

展示室 (1 階) 244.89 m²

特別展示室・準備室	84.60 m ²
事務室ほかその他	117.19 m ²
有田八郎記念館	116.76 m ²
収蔵庫	198.00 m ²
名誉町民資料館	55.48 m ²
駐車場 伝承館と共に	約 20 台

3.2.2 総事業費

不明

備 考 明治 22 年建築。相川小学校 80 周年記念事業として収集した歴史・鉱山・民俗資料を、鉱山縮小によって空いた鉱山事務所を利用して郷土博物館として昭和 31 年 7 月に開館した。

3.3 相川文書館

建設年度 昭和 51 年度 (移築)



3.3.1 施設概要

場 所 佐渡市相川坂下町 20

(相川郷土博物館敷地内)

建築面積 66 m²

構造・階数 木造平屋建

駐車場 伝承館と共に 約 20 台

3.3.2 総事業費

移築費 4,000 千円

備 考 大正 2 年に「相川銀行」の行舎として、羽田町に建てられた。その後第四銀行合併を経て、相川町に寄附され、昭和 51 年に相川文書館として現在の場所に移築された。

3.4 相川技能伝承展示館

事業名 地域バイタリティ育成事業全体計画
建設年度 昭和60～61年度



3.4.1 施設概要

場 所 佐渡市相川北沢町2番地
敷地面積 2,271m²
建築面積 712.17m²
構造・階数 鉄筋平屋建（一部2階建）
陶芸実習室 109.31m²
製織り実習室 93.57m²
資料展示室 109.31m²
窯小屋・登り窯 49.68m²
工房 102.69m²
ホール 137.75m²
事務室ほかその他 109.86m²
駐車場 伝承館と共に 約20台

3.4.2 総事業費

81,532千円

3.5 史跡佐渡奉行所跡

事業名 佐渡金山遺跡佐渡奉行所保存整備事業
建設年度 平成7～18年度



3.5.1 施設概要

場 所	佐渡市相川広間町1番地1
敷地面積	18,542m ²
建築面積	1,541.6m ²
構造・階数	木造平屋建
御物見	34.7m ²
御役所	990.0m ²
御門番所	32.0m ²
御普請方役所	140.4m ²
勝場	344.5m ²
駐車場	約20台

3.5.2 総事業費

2,387,984千円

3.6 佐渡国小木民俗博物館

3.6.1 佐渡国小木民俗博物館（旧館）



3.6.1.1 施設概要

場 所	佐渡市宿根木270-2
敷地面積	(総面積) 11,192m ² (旧館) 9868.96m ²
建築面積	
延床面積	2,930
構造・階数	木造平屋建
駐車場	10台

3.6.1.2 総事業費

19万円

備 考 大正9年に建てられた木造校舎をそのまま利用し、昭和47年6月に開館した博物館。

3.6.2 佐渡国小木民俗博物館（新館）

事業名 農村地域農業構造改善事業
(自然活用型)
建設年度 昭和56～59年度



3.6.2.1 施設概要

場所 佐渡市宿根本
敷地面積
建築面積 627.52m²
延床面積
構造・階数 鉄筋コンクリート平屋建
駐車場 旧館と共に 10台

3.6.2.2 総事業費

87,194千円

3.7 千石船展示館

事業名 山村振興等農林漁業特別対策事業
建設年度 平成8～9年度



3.7.1 施設概要

場所 佐渡市宿根本
敷地面積

建築面積 695.52m²
延床面積
構造・階数 木造平屋建
駐車場

3.7.2 設計者

基本設計 株式会社 テム研究所
実施設計
展示設計
施工者 中野建設工業株式会社

3.7.3 総事業費

135,366千円

3.8 海運資料館

(南佐渡離島開発総合センター内2F)
事業名 縮島開発総合センター建設事業
建設年度 昭和54～55年度



3.8.1 施設概要

場所 佐渡市小木町1941-1
敷地面積 1428m²
建築面積 1616.13m²
延床面積 500m²
構造・階数 鉄筋コンクリート3階建
(一部中4階)
駐車場 10台

3.8.2 総事業費

236,199千円

備考 平成22年度から佐渡考古資料館の資料も加えリニューアルオープンした。

3.9 幸丸展示館

事業名 日本宝くじ協会助成事業、町づくり特別対策事業
建設年度 昭和 59 年度



3.9.1 施設概要

場 所 佐渡市小木町 1941-1
敷地面積 1837m²
建築面積 303.65m²
延床面積 206m²
構造・階数 鉄骨造り 1 棟
駐車場

3.9.2 総事業費

52,000 千円

3.10 佐渡植物園

建設年度 昭和 23 年度



3.10.1 施設概要

場 所 佐渡市羽茂飯岡 550-6
敷地面積 59,671m² (施設概要より)
※ (総面積) 65,040m²
建築面積
(管理棟) 35m²

(作業棟)	19.87m ²
(温 室)	58.32m ²
述床面積	55m ²
構造・階数	鉄骨造り 1 棟
駐車場	

3.10.2 総事業費

不 明

3.11 新穂歴史民俗資料館

建設年度 昭和 62 年度



3.11.1 施設概要

場 所 佐渡市新穂瓜生屋 492
敷地面積 2,348m²
建築面積 922m²
構造・階数 鉄筋コンクリート造 2 階建
駐車場

3.11.2 総事業費

250,094 千円

3.12 金井歴史民俗資料館

事業名 国宝重要文化財等保存施設整備費補助金

(国)、文化保存事業費補助金(県)

建設年度 昭和 50 年度



3.12.1 施設概要

場 所 佐渡市泉甲 375-1
敷地面積 約 2,000 m²
建築面積 収蔵庫 144 m²
展示館 136 m²
構造・階数 鉄筋コンクリート造平屋建
駐車場

3.12.2 総事業費

15,010 千円

3.13 明治紀念堂（開導館）

建設年度 明治 35 年度



3.13.1 施設概要

場 所 佐渡市千種丙 154
敷地面積 1,055.2 m²
建築面積 72.24 m²
構造・階数 木造平屋建

3.13.2 総事業費

明治紀念堂 不明
開導館 4,100 千円（昭和 50 年復原）

4 平成 22 年度入館者の状況

	両津郷土博物館	相川郷土博物館	相川技能伝承展示館	史跡佐渡奉行所跡	佐渡国小木民俗博物館	海運資料館	(佐渡考古資料館※)	新穂歴史民俗資料館	金井歴史民俗資料館	赤泊郷土資料館	(佐渡植物園)	総計
4月	158	352	222	1,881	2,845	58		119	0	11	390	5,646
5月	419	590	479	2,591	2,437	160		109	0	25	320	6,810
6月	294	2,410	2,529	3,282	2,548	95		331	1	6	690	11,496
7月	161	1,051	987	2,519	2,484	145		100	5	27	410	7,479
8月	484	487	660	3,590	3,366	299		215	0	86	330	9,187
9月	276	570	416	2,039	1,545	284		370	10	28	420	5,538
10月	370	322	307	2,229	1,805	83		597	0	0	320	5,713
11月	203	126	91	1,270	734	64		333	1	0	280	2,822
12月	13	53	45	84	110	5		0	57	0	210	367
1月	46	5	10	40	27	6		0	0	0	70	134
2月	8	13	19	70	159	14		0	0	4	100	287
3月	50	155	125	629	278	28		140	0	2	110	1,407
入館者 年度計	2,482	6,134	5,890	20,224	18,338	1,241		2,314	74	189	3,650	56,886 (※※)

※佐渡考古資料館は、H22 年度より閉館した。

※※入館者総数に佐渡植物園の入館者数は含まず。

平成 16年度	2,772	4,497	7,844	26,317	20,523	1,477		2,801	263	594		67,088
平成 17年度	3,021	4,354	7,535	25,690	19,902	1,309		2,308	315	812		65,246
平成 18年度	3,086	3,599	6,800	29,195	18,247	1,363		2,607	153	493		65,543
平成 19年度	2,681	2,755	6,239	22,880	17,334	1,413		2,944	176	414		56,836
平成 20年度	3,162	4,925	6,279	20,648	15,038	1,106	354	3,445	123	282		55,362
平成 21年度	1,838	5,883	5,609	22,105	19,136	1,237	337	2,859	0	313	4,360	63,677
平成 22年度	2,482	6,134	5,890	20,224	18,338	1,241		2,314	74	189	3,650	56,886

III 事業内容

1 文化・学芸事業内容

1.1 常設展示

1.1.1 両津郷土博物館

1.1.1.1 事業趣旨

昭和 53 年に制定された「加茂湖総合開発計画」により、湖に半島となって突き出た樹崎一帯が「レクリエーション保存地区」として位置づけられた。そのなかで、市民の憩いの場、また、生涯教育の一拠点として、昭和 57 年に開館した博物館。メインテーマは「島のくらしと文化」としており、漁撈用具などの民俗資料を中心に 3 万点以上の資料が収蔵されている。

1.1.1.2 展示構成

常設展示は、それぞれ「海」、「くらしと木」、「祭」をテーマとした、第 1 ~ 第 3 展示室で構成されている。民俗資料を中心に歴史資料がそれを補完する形での展示を行っている。

また、エントランスでの新収蔵資料の展示や特別展示室を利用しての企画展示を随時行っている。

1.1.1.3 常設展示の保守点検・補修

生涯学習施設、また市民の憩いの場として、館内外及び周辺の美観を維持管理するため、保守点検・補修を行っている。

1.1.1.4 資料展示替え

常設展示については現状維持であったが、新収蔵品コーナーにて『地蔵菩薩』(木食行道作) や『空也上人』像などの展示を行った。また、常設展示に関しては、平成 23 年度より展示替えを行うことを予定している。

1.1.2 相川郷土博物館

1.1.2.1 事業趣旨

御料局佐渡支庁跡に明治 22 年三菱佐渡鉱山の所長室及び本部事務室として建築され、鉱山の大幅縮小に伴い鉱山資料と共に三菱より譲渡され、昭和 31 年に開館した博物館。資料展示は主に鉱山資料を中心

に約 800 点を展示している。鉱山以外の資料として、「佐渡海府の紡織用具と製品」(国指定重要有形民俗文化財) がある。

1.1.2.2 展示構成

相川地区は金銀山と共に生きてきた地域であり、鉱山に関係した資料を展示し、そのほか考古資料や遊女の展示コーナーがある。別館として終戦時に外務大臣を務めた有田八郎氏の資料を展示した記念館を昭和 41 年に開館している。

体験コーナーとして水上輪を設置し、実際に回して鉱山労働の厳しさと、当時の技術を体感できる。

1.1.2.3 順路案内

建物本体が博物館として建築された建物でないため、展示物の見学を巡回するようにすることができない。そのため、案内看板を設置し、受付でも説明するようにしている。

1.1.2.4 常設展示の保守

敷地内や建物の一部が国指定史跡となっていることから、史跡保存のため周辺の美観等の維持を中心に行っている。また、建物が古いため、建物の補修や来館者の安全に対して保守点検を随時実施し、平成 22 年度は周辺の草刈りと軽微な建物補修、消防用設備等総合点検を実施した。

1.1.2.5 展示資料替

佐渡博物館で開催している佐渡金銀山展に展示物・収蔵物を出展しているため、代替え品として鉱山機械の木型等を展示している。

1.1.2.6 企画展示

平成 21 年 1 月まで、地元相川地区出身の陶芸家、人間国宝である故三浦小平二氏の作品を特別展示室で展示した。この作品は奥様の三浦竹子様のご好意により佐渡市に寄贈された物である。平成 23 年 2 月から 3 月まで、「博物館収蔵品展 I 石井夏海・文海関係資料」を開催した。

1.1.3 相川文書館

1.1.3.1 事業趣旨

昭和 45 年から始まった町史編纂事業であるが、博物館が非常に手狭なため、昭和 48 年に旧第四銀行相川支店（大正 2 年建築）を改築する際に旧相川町へ建物を無償提供してもらい、昭和 50 年に完全移築し、町史編纂の作業とその資料の公開を目的として開館した。

1.1.3.2 展示構成

基本的に展示物はなく、町史編纂時の貴重資料が保管管理されている。

1.1.3.3 常設展示の保守

相川郷土博物館の保守管理に含めている。

1.1.3.4 展示資料替

収蔵されている貴重資料の台帳を現在作成している。

1.1.4 相川技能伝承展示館

1.1.4.1 事業趣旨

地域バイタリティー育成事業を活用して、地域の歴史や伝統技術の学習機会を拡大するため、一般・学生を対象とした陶芸実習や裂織り体験の受入を主目的に昭和 61 年に開館した。

1.1.4.2 展示構成

展示室では島内の窯元より作品を集めて展示している。また、体験学習のメニューにはないが、文弥人形も展示している。裂織りについては裂織り実習室が自由に入りでき、見学できるようになっている。

1.1.4.3 常設展示の保守

体験設備として作業する建物であることから、機器の整備や安全管理を常に行い、特に窯での陶芸作品焼成等があるため火災に対する注意喚起を徹底しており、毎年消防用設備等総合点検を実施している。

1.1.4.4 展示資料替

展示している陶芸作品で、窯元から変更の依頼があった場合に作品を変更している。

1.1.5 史跡佐渡奉行所跡

1.1.5.1 事業趣旨

平成 6 年度に佐渡金山遺跡（佐渡奉行所跡）が国の史跡として指定されたことを受け、平成 12 年度に御役所を当時の技術で復原公開し、平成 16 年度には銀銀山のガイダンス施設となる勝場を開館した。

1.1.5.2 展示構成

基本的に当時の技術で復原した建物を来館者に体感してもらう形であり、御役所内を説明員が案内している。ガイダンス施設である勝場では発掘調査で出土した遺物や、絵巻物などの資料を展示し、当時の選鉱作業の設備を復原し、実際に鉱山臼を回す体験を行っている。施設の活用を図るため、地域イベントである「ひなまつり・お茶会」「鉱山祭り宵の舞」会場として開放している。

1.1.5.3 順路案内

建物本体が当時の復原として建築されたため、建物内に矢印などの巡回案内を設置し、説明員がつぶようにしている。

1.1.5.4 常設展示の保守

当時の建物を復原したため、建物内での火気は厳禁であり、照明も最低限度の設置としている。機器の整備や安全管理を常に行い、特に火災に対する注意喚起を徹底しており、毎年消防用設備等総合点検を実施している。展示物ではないが、屋外の松が強風雪により折れて倒れたため、安全確保の観点から撤去した。

1.1.6 佐渡国小木民俗博物館

1.1.6.1 事業趣旨

大正 9 年に建てられた木造校舎をそのまま利用して、昭和 47 年 6 月に開館した博物館。館内には主に民俗資料を展示。その数 30,000 点余り。うち「南佐渡の漁撈用具 1,293 点」「船大工道具 1,034 点」

は国の重要有形民俗文化財に指定されている。千石船展示館には、安政5年（1858年）に宿根木で建造された「幸栄丸」を当時の板版（設計図）をもとにし実物大で復元した「白山丸」が展示されている。

1.1.6.2 展示構成

旧館には、「衣」「信仰」「陶器」をテーマにした展示室のほか、昔の生活道具を展示している大型展示室がある。新館には南佐渡の漁撈具や農具などを展示。そして、千石船展示館には、全長23.75mの白山丸を展示しており船内の見学もできる。

1.1.6.3 常設展示の保守点検・補修

市民の文化的・学術的活動を支援につなげるため館内と周辺の美観等を維持し、また、来館者の安全の確保を目的に常設展示室の保守点検・軽微補修、照明機器の補修・補充等を行っている。

今年度は、4～9月までに博物館周辺の草刈りを5回、樹木の剪定を12月にそれぞれ行った。消防用設備等総合点検は9月と2月の2回行い、照明器具については定期的に館員が点検し迅速な処理を行っている。

1.1.6.4 資料展示替

特になし

1.1.7 海運資料館

1.1.7.1 事業趣旨

離島であり、特に半島状の三方海に面したこの地に生まれ、毎日海を眺めながら育ち、そして海に生きてきた幾星霜に亘る先人達にとって、時代により方法の違いはあったが、絶えず行われてきた“海運”は、本土と交流することが今では想像できないほど大切なことだった。荒海に左右されながら、離島の宿命を甘受し海を征服して生きてきた人々の知恵と根性は驚くことばかりである。この資料館では、郷土共通の課題「海運」と、住民の暮らしに係わり合いを資料展示している。

また、今年度から佐渡考古資料館の閉館に伴い、考古資料も加えて展示している。発掘調査によって明らかとなった長者ヶ平遺跡の資料を中心に、かつて

ては海を通して運ばれた縄文土器や黒曜石など海上交易が盛んであった古代の海運を紹介している。

1.1.7.2 展示構成

文化、芸能と人との係り、小木港が大きな役割を果たした金銀輸送のみち、船絵馬、小木町が日本一の生産地であった船ダンス、和船に使用された用具、西回り航路による流れ、近世の汽船時代コーナー等をわかりやすく展示。

また、佐渡唯一の考古資料館として、国指定史跡である長者ヶ平遺跡の出土遺物を中心に展示している。

1.1.7.3 資料展示替

佐渡考古資料館の閉館に伴い、長者ヶ平遺跡の出土遺物の一部を館内に移動・展示した。併せて市の無形文化財に指定されている小比叡神社「田遊び神事」のコーナーも設置した。

1.1.8 幸丸展示館

1.1.8.1 事業趣旨

近世までの日本海は、表日本であった。経済発展を支えた海上交通は、小木港から対岸である越後へも往来を繰り返した。小木一寺泊間を結んだ現存する佐渡海峡最後の木造和船である「幸丸」を港湾区域内に展示することにより、かつての小木港の歴史を偲ぶと共に小木一寺泊との歴史や人と物との交流の足跡を物語るシンボルとして保存している。

1.1.8.2 展示構成

18m×24mの吹き抜けの展示館内には、船主であった長谷川正作氏の計画により、航海中にいかなる船も優先した「右舷開き」と呼ばれる帆形を再現して展示を行っている。また、展示館前庭には、案内看板の解説や天然記念物および名勝「佐渡小木海岸」の岩石（沈状溶岩、柱状節理）、かつて湾内に使用されていた尾道産の御影石などを配し、無料入館できる市民に身近な文化施設として利用されている。

※現在は、傷みのため帆を下ろしている。

1.1.8.3 資料展示替

特になし

1.1.9 佐渡考古資料館

平成 22 年度で閉館し、資料の一部は海運資料館にて展示。

また、館内跡地には日本アマチュア秀作美術館が移転した。

1.1.10 佐渡植物園

1.1.10.1 事業趣旨

- ①佐渡島の植物分布の特異性、多様性の縮図として、佐渡島内に自生している植物を収集、植栽、展示して研究の資料として提供する。
- ②青少年の生涯学習の場としての植物園を提供する。
- ③文化的、学術的資料を提供し、植物に親しむ場を提供する。

1.1.10.2 展示構成

北緯 38 度線によって二分されている佐渡島は、潮流の影響によって寒暖の差が少なく自生種が極めて多い。日本列島の縮図的な植物分布となっている。13 のゾーンに区分けした園内には、自生種の代表的な植物を植栽展示しており自然散策道や遊歩道を歩くと四季を通じて趣が感じられる。

昭和 47 年佐渡植物園 20 周年記念として、明治神宮から分けて頂いた花菖蒲は 6 月下旬～ 7 月上旬が見頃。

1.1.10.3 山野草展

来館者に四季を感じて頂くため、当園では隣接しているケアテルメ佐渡（温泉施設）を会場に春の山野草展（5 月）、ウチョウラン展（7 月）、大文字草展（10 月）、雪割草展（3 月）の 4 回の山野草展を開催している。

そのうち大文字草展については、羽茂保育園の年長組園児 20 名に大文字草の写生に取り組んでもらい、描いた作品を同時展示した。合わせて大文字草を見た素朴な感想も紹介し、来場者が微笑ましく見学していた。

1.1.10.4 園内の整備点検

市民の文化的・学術的活動を支援につなげるため園内と周辺の美観等を維持し、また、来館者の安全の確保を目的に園内の整備点検を行っている。

1.1.10.5 資料展示替

特になし

1.1.11 新穂歴史民俗資料館

1.1.11.1 事業趣旨

当初は、大野ダム建設事務所であった建物を利用して、昭和 55 年に開館した。トキをはじめとして、新穂村に関する資料を中心に考古・農具などが収集されていた。これらの資料をさらに有効利用するため、昭和 62 年に現在の資料館が建設された。1 階において芸術・伝統芸能、2 階において考古と民俗資料の展示を行っている。また、1 階では裂織りや勾玉作りの体験を随時受け付けている。

1.1.11.2 展示構成

1 階では、新穂出身の日本画の大家土田麦僊の作品や鬼太鼓、国指定文化財の文弥人形、県指定文化財の説経人形、のろま人形に関する資料が展示されている。2 階においては、弥生時代の国指定重要文化財の新穂玉作遺跡や藏王遺跡の資料、また各種農具や生活用具といった民俗資料が展示されている。

1.1.11.3 常設展示の保守点検・補修

平成 22 年度より、地元の裂織りサークルに受付業務の委託を行った。受付以外の施設保守については、職員が隨時点検することで補完している。

1.1.11.4 資料展示替え

常設展示については、基本的に展示替えを行っていないが、平成 23 年度に展示替えを予定している。

1.1.12 金井歴史民俗資料館

1.1.12.1 事業趣旨

広く佐渡国仲平野における農耕文化資料等の保存を目的として、昭和 50 年に竣工した。その後、郷倉（佐渡市指定文化財）が両津市大字上横山（現在の佐渡

市上横山)から移築されている。民俗資料約2,000点、考古資料約4,000点を収蔵している。

現在、常時開館は行っていない。また、平成23年度から資料館としての開館は行わない予定。

また、敷地内には佐渡市指定文化財「郷倉」がある。

1.1.13 明治紀念堂（開導館）

1.1.13.1 事業趣旨

明治27年から28年にかけて行われた日清戦争で、佐渡出身の兵士40余名が戦死した。その英靈を慰めるため明治29年に、金井地区得勝寺の住職である本荘了寛が一念発起し、島内外から義捐金を集め、敷地を購入し堂宇を建立し「明治紀念堂」と名付けた。

その後、付属施設として博物資料を展示するための「開導館」を建てた。相川の鉱山学校から譲り受けた資料や、日清・日露戦争の資料、島内の資料等を陳列した。明治35年に、明治紀念堂と開導館の落成式が開催された。

現在、常時開館は行っていない。また、平成23年度から資料館としての開館は行わず、指定文化財として活用予定。

1.2 企画展示

1.2.1 相川郷土博物館

博物館収蔵品展！

～石井夏海・文海関係資料～

会期：平成22年2月7日（月）～平成23年3月27日（日） 49日間

主催：佐渡市教育委員会社会教育課佐渡学センター

内容：博物館収蔵品展第1弾として、通常は非公開・

展示の資料である相川出身で江戸時代の絵師、石井夏海・文海親子の資料を展示。企画展に伴い資料再調査を実施し、デジタル化することで複製を中心に展示した。来場者約100名。

1.2.2 佐渡国小木民俗博物館

1.2.2.1 島の原風景

～第1回近藤福雄賞写真コンテスト作品展～

会期：平成22年12月1日（月）～28日（水）

28日間

主催：佐渡市教育委員会社会教育課佐渡学センター

内容：大正から昭和にかけて佐渡の風景や風俗をガラス乾板に残した近藤福雄。その業績をたたえると共に、氏の志を引き継ぎ写真文化の発展を願い開催された「佐渡国ビエンナーレ近藤福雄賞写真コンテスト」。全5回開催されたコンテストのうち、第1回目の作品29点を展示。四季を通じて佐渡の風俗・風景を映し出した入賞作品の魅力を鑑賞して頂いた。来場者110名。

1.2.2.2 ジオパークって、なあに？～小木半島編～

会期：平成23年2月1日（火）～28日（月）
28日間

主催：佐渡市教育委員会社会教育課佐渡学センター

内容：ジオパークに関する入門企画展として開催。

特に小木半島に所在する枕状溶岩やたけのこ岩などの貴重な自然遺産の紹介をしながら、ジオパークを身近に感じてもらおうと企画。

2月20日開催のミニシンポジウムとの連動企画。来場者120名。

1.2.3 佐渡植物園

1.2.3.1 春の山野草展

会期：平成22年5月8日（土）～9日（日）
2日間

主催：佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場：羽茂温泉クアテルメ佐渡

内容：出展者10名、展示200鉢、来場者178名

1.2.3.2 ウチヨウラン展

会期：平成22年7月3日（土）～4日（日）
2日間

主催：佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場：羽茂温泉クアテルメ佐渡

内容：出展者9名、展示224鉢、来場者170名

1.2.3.3 大文字草展

会期：平成22年7月3日（土）～4日（日）
2日間

主催：佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場：羽茂温泉クアテルメ佐渡

内容：出展者9名、展示160鉢、来場者138名。

羽茂保育園年長組の園児に描いてもらった大文字草の絵画展も展示開催。

1.2.3.4 雪割草展

会期：平成 23 年 3 月 26 日（土）～27 日（日）

2 日間

主催：佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場：羽茂温泉クアテルメ佐渡

1.3 収集保管事業

○三国家収蔵資料（11 月）（寄託）

○本間家収蔵資料（12 月）

○持田家収蔵資料（12 月）

○空也上人立像及び台座（3 月）（寄託）

1.4 調査研究事業

○ホームページ更新 隨時

○調査回答事業（通年）

郷土博物館は特に歴史文化の情報センターとしての役割も多く、関係機関・市民・児童生徒・県内外にお住まいの方々から、幅広いお問い合わせをいただいている。

調査研究・観光等々目的も多岐にわたるが、電話での回答や FAX 等での資料提供をさせていただいた。今後は、寄せられたテーマに関する蓄積データの情報発信につなげることも検討している。

○文化振興懇談会の開催及び文化振興ビジョンの策定（通年）

○第 3 次登録有形文化財調査 金井地区 正法寺

（4 月～12 月）（調査研究委託）

○近代化遺産建造物調査 相川地区 相川文書館

（4 月～12 月）（調査研究委託）

○振矩術調査（調査研究委託）

○三国家資料調査（県立文書館との共同調査）

（9 月～11 月）

○相川郷土博物館絵巻 目録カード調査

（撮影と図録化）

○新穂地区山王山車調査（4 ～ 6 月）

○ジオサイト予備調査（4 月～12 月）

○沢根地区田上地蔵堂調査（5 月）

○振矩術文献調査（7 月～8 月）

○新穂地区大日堂建造物調査（8 月）

○本間家収蔵資料調査（11 月）

○持田家収蔵資料調査（11 月）

○デジタルアーカイブ化

・佐渡支庁文書デジタル化・図録化

・長岡市中央図書館所蔵絵図・絵巻撮影およびデジタル処理、図録作成

・佐渡奉行岡松井豫守旅行図絵巻 2 本デジタル化、図録作成、レプリカ作成

・佐渡博所蔵麦僊舞子下絵デジタル化処理

・舟崎文庫資料絵巻（4 本）・現品拓本撮影、デジタル処理、図録作成

・国立科博鈴木先生持參絵図撮影、処理、図録作成

・出雲崎町天領の里館所蔵屏風撮影、処理、図録撮影

・新潟大学所蔵絵巻撮影、処理、図録作成

・小木横井戸関係資料デジタル化（2 編）

・味方家寄託資料目録 P D F 化

・東京大学佐渡鉱山実習報告書撮影・デジタル処理
約 2,000 ページ（5 日間）

・県立歴史博物館所蔵絵巻 12 本撮影・デジタル化
処理、図録作成

・舟崎文庫史料デジタル化処理・図録作成

・初代本間琢齋作大砲模型試作撮影（2 回）および
関連史料デジタル化

・舟崎文庫調査 世界遺産関係史料撮影、デジタル
化処理、図録作成

・新発田市立図書館所蔵「佐渡国絵図」デジタルアーカイブ化

・九州大学絵巻 1 本、国立科学博物館所蔵絵巻 4 本
デジタルアーカイブ化、図録作成

・相川郷土博所蔵佐渡国絵図デジタル化（102 分割）
図録化

・山本修巳家所蔵絵図（佐渡国絵図、奉行所絵図 2 点）
デジタル化、図録化

・相川高等学校所蔵「元禄佐渡国絵図写」デジタルアーカイブ化&図録作成

・相川郷土博所蔵明治期相川町図 2 点デジタルアーカイブ化

・佐渡市所蔵「佐渡国絵図」デジタルアーカイブ化

・新潟市笛川氏所蔵絵図デジタル化、図録撮影

・新穂長畠川上家所蔵（細野家）文書 14 冊デジタル化、図録作成

- ・石井文海筆相川 12 ヶ月デジタルアーカイブ化
 - ・明治期ポスターデジタル化実寸大印刷
 - ・島根県絵巻調査
佐渡金銀山絵巻調査撮影 絵巻 10 件 (13 本)
 - ・その他
- 文化財関係撮影およびデジタル化処理業務
- ・佐渡博物館松井健一本手書友禅遺作展展示記録撮影
 - ・佐渡博所蔵土田麦僊屏風撮影
 - ・世界遺産講演会写真撮影&処理
 - ・五重塔関係史料撮影 (妙宣寺・島内関係寺社・他)
 - ・佐渡国小木郷土博物館所蔵板絵撮影
(通常撮影・赤外) およびデジタル処理
 - ・文化庁「発掘された日本列島 2011 展」図録用写真処理
 - ・なんでも鑑定団提供用初代宮田藍堂作品撮影
 - ・各出版社掲載依頼写真処理
絵巻、絵図、絵馬、指定文化財、他
- 論文・出版物掲載イラスト作成
- 各種イベント チラシ、看板、垂れ幕作成
- 日本鋳金科協会創立百周年記念パネル展記録集作成
- ジオパーク関係資料作成
- リポジトリ関係
掲載用資料のデジタルアーカイブ化

1.5 ジオパーク推進事業

1.5.1 ジオサイト予備調査

第1回 3月 27・28 日 (土・日)

沢根、林道国中北線長江～河内予備調査、3名参加

第2回 5月 21～23 日 (金・土・日)

小木半島～西三川予備調査、4名参加

第3回 6月 11 日 (金)

小木半島の横井戸予備調査、4名参加

第4回 6月 30・7月 1 日 (水・木)

外海府海岸予備調査、3名参加

第5回 7月 9 日 (金)

水津～赤玉予備調査、2名参加

第6回 8月 11 日 (水)

西三川石切場予備調査、7名参加

第7回 9月 3・4 日 (金・土)

- 小佐渡海岸予備調査、5名参加
- 第8回 10月 8 日 (金)
二見半島予備調査、3名参加
- 第9回 10月 9 日 (土)
国中平野～加茂湖周辺予備調査、4名参加

1.5.2 佐渡ジオパーク市民講座

全 10 回、2 班編制

第1回 6月 26 日 (土)

講義「金北山はなぜ高いか」、

47 名参加、両津郷土博物館

第2回 7月 24・25 日 (土・日)

小木巡査「地殻変動の実感。小木海底火山」、

45 名参加

第3回 8月 28・29 日 (土・日)



実習「岩石薄片の作成」

45 名参加、両津郷土博物館

第4回 9月 11・12 日 (土・日)

実習「簡易型偏光顕微鏡の作成」

42 名参加、両津郷土博物館

第5回 9月 25・26 日 (土・日)

羽茂～沢根巡査「日本海に堆積した地層群」

43 名参加

第6回 10月 23・24 日 (土・日)

二見半島～鹿の浦巡査「金 鉱床、相川層」

44 名参加

第7回 11月 27 日 (土)

外海府巡査「佐渡島の基盤岩類」

20 名参加

第8回 12月 4 日 (土)

講義巡検「加茂湖周辺の更新統と砂州」

38名参加

第9回 1月22日（土）

講義「日本海・佐渡島のおいたち」

53名参加、両津郷土博物館

第10回 2月26・27日（土・日）

実習「珪藻質泥岩中の珪藻化石」

53名参加、佐渡市立理科教育センター



1.5.3 ジオパーク先進地視察

1.5.3.1 糸魚川ジオパーク視察

4月14日（水）～16日（金）2泊3日、

小林巖雄、池田雄彦、神藏勝明

- ・糸魚川フォッサマグナ博物館の施設見学、ジオパーク国内認定・国際認定の講義
- ・弁天岩ジオサイトの視察、親不知ジオサイトの視察
- ・青海自然史博物館の視察

1.5.3.2 第四紀学会ポスターセッション参加

8月22日（日）、東京学芸大学、佐渡ジオパークポ

スター展示、2名参加

1.5.3.4 日本ジオパークネットワーク総会参加

8月21日（土）、糸魚川市、ヒスイ王国館「姫川」「明

星」、1名参加

1.5.3.5 ジオパーク協議会準備会

1月28日（金）、アミューズメント、委員9名、

事務局6名

1.5.3.6 ミニシンポジウム

「佐渡ジオパークとはなにか—ジオパーク講座から思うこと—」

主催 佐渡市教育委員会

後援 新潟日報

協力 佐渡ジオパーク市民講座受講生

2月20日（日）、午後1:00～4:00、金井能楽堂、
入場無料、参加者100名

1.5.3.7 世界遺産フォーラム

佐渡ジオパークと世界遺産教育

主催 新潟大学旭町学術資料展示館、佐渡市教育委員会

共催 新潟大学理学部

後援 新潟県教育委員会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、読売新聞新潟支局、毎日新聞新潟支局、NHK 新潟放送局、BSN 新潟放送、NST、TeNY テレビ新潟、UX新潟テレビ 21、佐渡汽船（株）

・3月5日（土）

バス見学会

・3月6日（日）

ジオパーク関係者打合会 10:00～12:00

フォーラム 13:00～16:00

講演

橋本博文（新潟大学旭町学術資料展示館長）

「ジオパークと世界遺産教育」

竹之内 耕（糸魚川市フォッサマグナミュージアム学芸係長）

「糸魚川ジオパークの教育活動」

市橋弥生（新潟大学大学院自然科学研究科2年）

「新潟大学で学んだこと—佐渡の金を探る—」

金井能楽堂、入場無料参加者100名

・3月18日（金）

小木ふれあいガイド研修会講師

・3月29日（火）

佐渡職業訓練校観光ガイド養成科講師

1.6 支援、助成事業

- 伝統文化等保存支援補助事業
- 体験学習事業、「佐渡の能を識る会」、(能楽体験教室)、8/7、30名参加、金井能楽堂
- 後継者育成事業、「佐渡鷺流狂言研究会」、通年、12名、真野ふるさと会館等
- 特別活動支援、「羽茂高校民謡同好会」(22名)、(宮崎県小林市、全国高等学校総合文化祭参加、8/4、文化連盟賞受賞)
- 佐渡博物館支援
- 佐渡おけさ懇談会(通年)
- 第18回ダニと疾患のインターフェイスに関するセミナー(福井大学医学部)開催支援
平成22年6月12日(土)トキ交流会館
講演「佐渡の自然とトキ・動物相」佐渡とき保護会会長 坂田金正
- おんなたちのこころみ 文弥の夕べと夜能支援
(6月13日)
- 正法寺ろうそく能支援(6月26日)
- 第41回新潟県維新史研究会支援(7月3日~4日)
- 白山丸祭支援(7月24日~25日)
- さわってみよう佐渡の能支援(8月7日)
- 両津地区下久知郷土史編纂事業への協力
久知八幡宮が所在する下久知地区では、現在郷土史の編纂事業に取り組まれているが、『両津市誌』の編纂資料をはじめ、所蔵資料の閲覧に協力した。
- 武藏国分寺薪能
9月18日に東京都国分寺市との姉妹都市提携事業として、史跡武藏国分寺跡の特設会場において薪能が催された。佐渡学センターでは、国分寺市や出演団体である佐渡能楽連盟と佐渡鷺流狂言研究会との協議調整を行い、本事業に協力した。

1.7 新潟大学人文学部等関連事業

1.7.1 新潟大学人文学部

- 佐渡市徳和調査(大椋神社氏子集落)
平成22年8月8日(日)~12日(木)
池田哲夫民俗学研究室 22名
- 新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会連携協定調印記念シンポジウム
・シンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」

- 平成22年8月28日(土) 金井コミュニティセンター 大ホール 260名
 『朱鷺島一創作能「トキ」の誕生』上映、県立佐渡中等教育学校生徒による宝生流の素謡、佐渡市立真野中学校狂言クラブによる鷺流狂言
 基調講演「世阿弥の時代」
 (国際日本文化研究センター名誉教授:今谷 明)
 " " 「佐渡の能楽」
 (武蔵野大学名誉教授:小林 貴)
 " " 「世阿弥と佐渡」
 (大阪大学名誉教授:天野文雄)
 •パネルディスカッション

○佐渡学プレセミナー

- 平家琵琶奉納演奏 「那須与一」
平成22年10月2日(土) 大膳神社能舞台 60名
- 新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会連携協定調印記念 第1回佐渡学セミナー
平成22年10月3日(日) 金井能楽堂 100名
 記念講演「私のシルクロード史研究—敦煌と佐渡をむすぶものー」
 (新潟大学人文学部長:關尾史郎)
 研究発表「平家物語と佐渡—相川音頭に導かれて八島合戦譚を考えるー」
 (新潟大学人文学部教授:鈴木孝庸)
 研究発表「佐渡の民俗芸能の位置—祝福芸を事例に」(新潟大学人文学部教授:池田哲夫)



- 佐渡、新潟、記憶と映像の記録～日本映像民俗学会・佐渡大会&地域映像アーカイブ 2010～平成22年10月15日(金)
 Part:1 佐渡の芸能を知る 潮津の里 30名

講演「佐渡の伝統文化と芸能」山本修巳
芸能鑑賞「説経人形 金平物、のろま人形 生地蔵」 広栄座
10月 16 日 (土)
Part:2 映像から見た新潟、佐渡の生活と文化
佐渡島開発総合センター 40 名
映画上映、シンポジウム
「佐渡、新潟の映像と文化の記憶」
10月 17 日 (日)
Part:3 映像民俗学の会 会員映画上映
佐渡島開発総合センター 25 名
○佐渡市徳和調査報告会
平成 23 年 2 月 10 日 (木)
池田哲夫民俗学研究室 赤泊徳和会館 22 名
○新潟大学ジオパーク・世界遺産シンポジウム
平成 23 年 3 月 5 日 (土) ~ 6 日 (日)
・3 月 5 日
バス見学会
佐渡博物館・佐渡金山・吹上海岸・平根崎
・3 月 6 日
第 5 回佐渡世界遺産フォーラム
「佐渡ジオパークと世界遺産教育」



会場 金井能楽堂
講演 橋本博文 (新潟大学旭町学術資料展示館長)
「ジオパークと世界遺産教育」
竹之内 耕(糸魚川市フォッサマグナミュージアム学芸係長)
「糸魚川ジオパークの教育活動」
市橋弥生 (新潟大学大学院自然科学研究科 2 年)
「新潟大学で学んだこと—佐渡の金を探る—」

1.7.2 新潟大学国際課

平成 22 年 5 月 8 日 (土) ~ 5 月 9 日 (日)
佐渡奉行所跡、佐渡国小木民俗博物館、伝統的建造物群保存地区「宿根木」
新潟大学留学生 83 名

1.7.3 新潟大学附属図書館・佐渡市教育委員会提



携調印式及び記念講演会

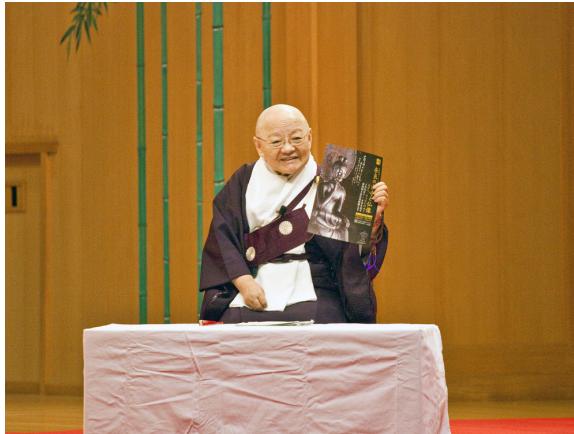
平成 22 年 4 月 18 日 (日)
佐渡島開発総合センター 70 名
講演「佐渡を調べる — 文書・絵図 —」
新潟大学附属図書館長 矢田俊文(人文学部教授)

1.8 刊行物

- 『佐渡学センターだより』第 2 号 (電子出版)
- 『佐渡学センターだより』第 3 号 (電子出版)
- 『佐渡学センター 年報』第 2 号 (電子出版)
- 佐渡市文化振興ビジョン 2010 (電子出版)
- 新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会連携協定調印記念『第 1 回佐渡学セミナー記録集』(電子出版)
- 『「振矩術に関する調査研究」報告書』(調査研究委託事業) 金子勉
- ジオパーク市民講座事業報告書 (電子出版)
- 沢根地区田上地蔵堂調査レポート
- 新穂地区山王山車調査レポート
- 新穂地区大日堂調査レポート

1.9 イベント

- 佐渡市教育委員会連携協定事業
- 中宮寺日野西光尊講演会（講演・鼎談・文弥人形公演）（5月）



- 生涯学習フェスティバル（主管：社会教育課）
(12月)

○白山丸まつり 共催事業

日時：平成 22 年 7 月 24 日（土）17:00～

前夜祭

平成 22 年 7 月 25 日（日）9:00～

本祭り

主催：白山丸友の会、佐渡市教育委員会（共催）

会場：佐渡国小木民俗博物館千石船展示館前

内容：平成 10 年春、日本で最初に完全復元された千石船「白山丸」が年に一度、展示館から外に出て帆を揚げるまつり。前夜祭では和太鼓集団「鼓童」の公演と地元の子ども達による小木おけさの披露、本祭りでは、帆を張った白山丸の下で「ちとちんとん」などの郷土芸能が披露された。当日は 700 人を超える人が訪れた。

1.10 その他

観光等キャンペーン協賛関連

- 首都圏佐渡連合会員限定「ふるさと再発見の旅企画」
(主催：佐渡市觀光商工課國際觀光・誘致室)
平成 22 年 4 月 1 日（木）～平成 23 年 3 月 31 日（木）
- 「佐渡觀光・検定」合格者優待特典
(主催：佐渡觀光・文化検定実行委員会)

平成 22 年 4 月 1 日（木）～平成 25 年 3 月 31 日（日）

- 佐渡友好交流事業（新潟・長野県 8 市と姉妹都市の小中学生対象）

（主催：佐渡市觀光商工課國際觀光・誘致室）

平成 22 年 7 月 17 日（土）～8 月 31 日（火）

- 信越本線・北陸本線スタンプラリー de マイレール事業

（主催：信越本線・北陸本線マイレール実行委員会）

平成 22 年 7 月 24 日（土）～11 月 7 日（日）

- 黄金の島・佐渡で謎解き宝探し

（主催：黄金の島・佐渡で謎解き宝探し実行委員会）

平成 22 年 7 月 17 日（土）～10 月 31 日（日）

- 佐渡トキツーデーウォーク 2010

（主催：佐渡トキツーデーウォーク実行委員会）

平成 22 年 10 月 19 日（火）～10 月 22 日（金）

- 「佐渡の日」キャンペーン

（主催：佐渡觀光協会）

平成 23 年 3 月 5 ～ 7 日、12 ～ 14 日、19 ～ 22 日、
26 ～ 28 日

- 「はんが甲子園」版画制作・取材協賛

（主催：全国高等学校版画選手権大会実行委員会）

実施予定日 平成 23 年 3 月 18 日（金）～22 日（火）
東日本大震災により中止

- ポスター・チラシ・ディスプレイ等

- 出版社・新聞社・大学等への写真等の提供

・（古写真）新潟日報

2 交流普及事業概要

2.1 講演等

佐渡学センターでは、学校や地域団体等からの依頼により、現地巡査のガイドや地域での講演を開催している。佐渡や地域の歴史文化をテーマとした巡査や講演、展示等は、市民の方々が身近な地域を見直す機会となっている。

2.2 体験コーナー

本年度の実施なし

2.3 観察・団体受け入れ状況

2.3.1 両津郷土博物館

月日	曜日	団体名	人数
4月 9日	金	読壳旅行	16
4月 10日	土	読壳旅行	43
4月 11日	日	読壳旅行	6
4月 12日	月	読壳旅行	12
4月 13日	火	読壳旅行	20
4月 15日	木	読壳旅行	36
4月 18日	日	読壳旅行	52
4月 23日	金	新潟大学原田教授視察	1
4月 28日	水	金井小学校	60
6月 9日	水	上越市春日小学校	20
6月 23日	水	北海道泊村教育委員会視察	6
6月 24日	木	内海府小学校	17
6月 24日	木	川崎小学校	13
6月 29日	水	ジオパーク市民講座受講生	46
7月 3日	土	維新期研究会	9
7月 4日	日	維新期研究会	10
8月 25日	水	高齢者学級	28
8月 29日	日	島暮らし佐渡体験交流会	5
9月 14日	火	行谷小学校	38
9月 16日	木	五泉南小学校海藻標本作り	34
9月 22日	水	七浦小学校	9
9月 27日	月	トキめきクラブ	25
10月 3日	日	ふるさと再発見の旅	32
10月 8日	金	東京都利島村教育委員会教育長視察	1
10月 10日	日	島暮らし佐渡体験交流会	7
10月 19日	火	金井地区寿大学	56
10月 28日	木	佐渡中等教育学校総合学習	8
10月 28日	木	社会福祉協議会「ふるさと訪問事業」	84
11月 10日	水	文化財保護パトロール委員研修	7
11月 10日 ～ 11日	水 木	北海道開拓の村 ボランティアの会	27
11月 12日	金	東中学校総合学習	4
11月 18日	木	加茂小学校	48
11月 19日	金	新潟県立文書館調査	4
11月 22日	月	畠野地区移動産業講座	22
1月 22日	土	ジオパーク市民講座受講生	37
2月 9日	水	環境行政コース所長講義	10
3月 29日	火	河崎保育園	23
合 計			876

2.3.2 相川郷土博物館

日	曜日	団体名	人数
4月 18日	日	佐渡市観光商工課	20
4月 12日	月	南教育事務所	9
4月 28日	水	相川中学校	55
5月 15日	土	佐渡市地域振興課	5
5月 31日	月	赤泊中学校	19
7月 7日	水	金泉小学校 2年生	10
8月 1日	日	北教育事務所	165
7月 27日	火	ママの森幼稚園ニュートンくらぶ	20
7月 23日	金	相川小学校	2
9月 10日	金	金井地区尾花民生委員 代表 上杉正明	28
9月 22日	水	相川小学校	23
10月 19日	火	佐渡トキツーデーオーク事務局	20
合 計			376

2.3.3 佐渡奉行所

月日	曜日	団体名	人数
4月 12日	月	南教育事務所	9
4月 15日	木	羽茂中学校	27
4月 28日	水	金井小学校	63
5月 8日	土	新潟大学国際センター	90
4月 28日	水	相川中学校	55
4月 29日	木	株式会社 ホテル大佐渡	4
5月 7日	金	加茂小学校	39
5月 15日	土	佐渡市地域振興課	5
5月 28日	金	相川中学校	16
5月 31日	月	赤泊中学校	19
6月 25日	金	県労働者福祉協議会	24
7月 6日	火	小木地区公民館	25
8月 1日	日	北教育事務所	165
8月 23日	月	新潟県立佐渡高等学校	93
9月 7日	火	佐渡地域振興局企画振興部	4
9月 16日	木	相川小学校	23
9月 20日	月	佐渡市観光商工課	10
10月 3日	日	佐渡市観光商工課	19
10月 4日		長崎市議会行政視察	
10月 5日	火	真野小学校	45
10月 9日	土	佐渡市地域振興課	6
10月 14日	木	新穂小学校	21
10月 19日	火	佐渡トキツーデーオーク事務局	20
10月 25日	月	社会福祉法人とき福祉会	23
11月 6日	土	行谷小学校	28
11月 11日	木	社団法人 佐渡観光協会	7
11月 18日	木	川茂小学校	6
11月 21日	日	社会福祉法人佐渡福祉会そよかぜ	24
3月 3日	木	新潟県立佐渡中等教育学校	85
2月 10日	木	八幡小学校	17
合 計			873

2.3.4 佐渡国小木民俗博物館

月 日	曜日	団体名	人数
4月 12日	月	山村留学事業	18
4月 14日	水	羽茂中学校	34
4月 16日	金	新穂中学校	20
5月 9日	日	新潟大学留学生	91
5月 28日	金	内海府小学校	8
6月 3日	木	撮影	1
6月 5日	土	撮影	2

6月 9日	水	「えール」取材	3
6月 17日	木	相川町屋保存会	5
6月 25日	金	取材	2
7月 9日	金	武田鉄矢 社会教育課	10
7月 15日	木	愛知豊田市議視察	8
7月 31日	土	入間市吉田副市長視察	3
8月 6日	金	N S T取材	6
8月 6日	金	里田まいP R撮影	12
8月 11日	水	UX撮影クルー（スザンヌ、相沢まきほか）	35
8月 23日	月	佐渡高校	52
8月 27日	金	新潟県観光協会	1
9月 8日	水	新潟県副知事（地域振興局）	4
9月 9日	水	相模大学（佐渡市観光商工課）	9
9月 12日	日	外国人（佐渡市観光商工課）	23
9月 23日	木	取材	4
9月 27日	月	国土交通省関係者	3
10月 5日	火	取材	2
10月 7日	木	T E N Y 「夕方一番」撮影クルー	4
10月 14日	木	市議会来賓	2
10月 21日	水	ツーデーウォーク参加者	41
10月 8日	月	UX撮影	2
11月 12日	金	視察	7
11月 16日	火	小木小学校	24
11月 24日	水	羽茂小学校 4年生	29
12月 1日	水	小木小学校 6年生	24
12月 1日	水	新潟日報取材	1
12月 7日	火	佐渡テレビ取材	1
12月 10日	金	C N S取材	1
1月 31日	月	C N S取材	1
2月 2日	水	佐渡テレビ取材	2
2月 3日	木	新潟日報取材	1
2月 17日	木	佐渡市総務課広報広聴係 市報さど取材	1
2月 18日	金	元観光庁長官 他4人	5
3月 18日	金	佐渡看護学校	15
3月 26日	土	帆船海王丸クラブ取材	1
3月 30日	水	小川小学校修学旅行、下見	3
合 計			521

2.3.5 海運資料館

月 日	曜日	団体名	人数
4月 4日	日	(有) 加藤塗装店代表取締役、フランス人	2
4月 21日	水	(株) 第一印刷所（撮影）	2
4月 28日	水	相川中学校 2年生	44
4月 30日	金	佐渡観光協会南佐渡支部（田中）	1
4月 30日	金	越後交通（修学旅行）	3
5月 6日	木	小木行政サービスセンター佐藤次長	1
5月 24日	月	新潟交通（定期観光）	1
5月 24日	月	新潟県立海洋高校海洋科学科 1年生	18
5月 26日	水	新潟県立海洋高校海洋科学科 1年生	17
6月 2日	水	ときわ会	11
6月 9日	水	(株) 第一印刷所（撮影）	3
6月 9日	水	添乗員	1
6月 18日	金	佐渡汽船（案内）	1
6月 18日	金	庄支トラベル	2
6月 20日	日	高藤 一郎平（案内）	3
7月 6日	火	日本交通（株）	1
7月 20日	火	小木小学校 6年生担任教諭	1
7月 21日	水	小木小学校 6年生	25
8月 13日	金	クラブツーリズム 添乗員	1

8月 15日	日	寺島棟夫（資料寄託者） 千石船 栄丸・天満丸	5
8月 23日	月	ふるさと里帰りキャンペーン	3
8月 30日	月	小木小学校・深浦小学校 教諭	2
9月 11日	土	佐渡市観光商工課（上越市柿崎区分室）	23
9月 14日	火	小木小学校・深浦小学校	143
9月 22日	水	市教委社会教育課文化財室	3
9月 27日	月	金沢大学 佐々木花江（撮影）	2
9月 28日	火	小木ふれあいガイド（いきいき探検隊案内）	1
9月 28日	火	いきいき探検隊	13
10月 21日	木	トキツーデーウォーク参加者	1
10月 21日	木	トキツーデーウォーク参加者	1
10月 21日	木	トキツーデーウォーク参加者	1
11月 10日	水	H B C トラベルサービス	1
11月 10日	水	北海道開拓の村ボランティアの会	27
11月 30日	火	小木小学校 6年生	6
12月 20日	月	白杵教育長、渡邊社会教育課長	2
2月 2日	水	九州大学大学院芸術工学府 金・珉釤（調査・研究）	4
2月 3日	木	九州大学大学院芸術工学府 金・珉釤（調査・研究）	2
2月 7日	月	小木小学校 村川教諭（考古資料撮影）	1
2月 9日	水	石塚 一雄（資料寄託者）	1
2月 21日	月	県文化行政課 澤田敦理文係長 石器資料実測等	1
3月 7日	月	西教育事務所 本間局長	1
3月 22日	火	富山大学学生、石器資料実測等	1
3月 26日	土	帆船海王丸クラブ取材	1
合 計			388

2.3.6 佐渡植物園

実績なし

2.3.7 新穂歴史民俗資料館

月日	曜日	団体名	人数
6月 10日	木	三条市立月岡小学校	23
6月 10日	木	大野小学校	9
6月 15日	火	上越市立飯小学校	17
6月 16日	水	真野小学校	11
6月 16日	水	阿賀町立三郷小学校	7
6月 17日	木	新潟市牡丹山小学校	156
6月 24日	木	真野小学校	12
10月 1日	金	真野小学校	49
10月 3日	日	ふるさと再発見の旅	35
10月 11日	水	夕映え市	約300
10月 27日	水	新穂中学校総合学習	10
合 計			約629

2.3.8 金井歴史民俗資料館

月日	曜日	団体名	人数
11月 22日	月	早稲田大学大学院考古資料調査	1
12月 6日	月	金井吉井小学校	18
12月 9日	木	金井小学校	27
合 計			46

2.3.9 明治紀念堂（開導館）

実績なし

2.4 出前授業

2.4.1 両津郷土博物館

- ・5月 19日（水）真野小学校

火おこし体験教室

- ・11月 22日（月）畠野移動産業講座 講演

- ・12月 6日（月）長安寺 講演

- ・12月 9日（木）金井小学校4年生

金井歴史民俗資料館を会場に昔の道具学習

2.4.2 佐渡国小木民俗博物館

- ・7月 4日（土）小木小学校 5年生学年行事

火おこし体験

3 職場体験

本年度の実績無し

4 学芸員実習受け入れ

- ・8月 10日（火）佐渡博物館学芸員実習 2名

IV 関係団体

V 受贈・購入図書

1 佐渡市博物館協議会

佐渡市博物館協議会では、佐渡市教育委員会からの諮問により博物館・資料館の将来的なあり方を検討している。数多くの施設の整理統合を進めながら、限られた人員と予算の範囲内でいかに博物館を活性化し、将来に伝えていくかを協議している。

2 佐渡植物園協議会

昭和 36 年 4 月、羽茂町制施行による羽茂町立佐渡植物園の設立と同時に発足。

会長は園長である石塚邦夫氏（平成 9 年～）が務め、10 名の協議会委員で構成されている。部署は「企画・温室部」、「椿・草本・木部」、「菖蒲・作業部」の 3 つ。

委員は年 2 回の協議会をはじめ、展示会、ボランティア草むしり、現地見学会等などにも積極的に参加している。

3 佐渡とき保護会

佐渡とき保護会は、昭和 28 年に佐渡朱鷺愛護会として設立され、長く両津市教育委員会で事務局を担当して、現在に至っている。戦後次々にトキの数が減少するなかで、冬場における餌の確保、監視活動等地道な活動を行ってきている。昭和 56 年に行われた野生のトキ 5 羽の一斉捕獲から現在に至るまで、主にトキ保護の普及や募金活動を行っている。

また、中国の洋県やトキの餌となるドジョウの養殖等など、トキと関連深い活動等に対し交流や補助を行っている。

1 両津郷土博物館

- きゅーはくの絵本⑨埴輪月夜のおおさわぎ
　天野誠・池上理恵 2009 株式会社フレーベル館
- きゅーはくの絵本⑩遣唐使もろこしのたからもの
　九州国立博物館 2009 株式会社フレーベル館
- 平成 19－20 年度科学研究費補助金（基盤研究（c））
　市民協同型 I P M 活動に関する研究会－発表の記録と資料一 江口みどり他 平成 21 独立行政法人国立文化財機構九州国立博物館
- トピック展示新収品 '05－'08 交流する文化のかたち
　九州国立博物館 2009 九州国立博物館
- 特別展開山無相大師六五〇年遠諱記念京都妙心寺禪の至宝と九州・琉球 九州国立博物館 2010 西日本新聞社
- 東風西風九州国立博物館紀要第 4 号 九州国立博物館 平成 21 年 九州国立博物館
- トピック展示巨大掛軸をめぐる文化交流－祈りと暮らしのかたち－ 九州国立博物館 平成 22 年 九州国立博物館
- 聖地チベット－ポタラ宮と天空の密教－ 大広 2009 大広
- 国立歴史民俗博物館研究報告第 155 集旅－江戸の旅から鉄道旅行へ－ 山本光正 2010 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館
- 国立歴史民俗博物館研究報告第 156 集 [共同研究] 人文・自然景観の開発・保全と文化資源化に関する研究 青木隆浩 2010 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館
- 国立歴史民俗博物館研究報告第 158 集 2010 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館
- 国立歴史民俗博物館資料図録 7 死絵 SHINIE 2010 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館
- 国立歴史民俗博物館資料目録 [9] 見世物関係資料コレクション目録 2010 国立歴史民俗博物館
- 京都府埋蔵文化財情報第 110 号 平成 21 年
（財）京都府埋蔵文化財調査研究センター
- 知床博物館研究報告第 31 集 内田暁友 2010 斜里町立知床博物館
- 立命館平和研究－立命館大学国際平和ミュージアム紀要－第 11 号 立命館大学国際平和ミュージアム 2010 立命館大学国際平和ミュージアム
- 特別展衣の記憶－晴着と普段着－ 氷見市立博物館 平成 22 年 氷見市立博物館

- 光と影のふるさと贊歌月岡徳恵水彩画展図録 新潟市豊栄博物館 2010 新潟市豊栄博物館
- 平成 19 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助事業 認知症サービスの充実に関する総合的な調査研究「VR 映像を活用した地域博物館での認知症の理解促進に関する人材育成マニュアル作成事業」 平成 20 年 特定非営利活動法人シルバー総合研究所
- 美の視点記憶のかたち 新潟県立万代島美術館 2009 新潟県立万代島美術館
- 歴史と民俗 26 神奈川大学日本常民文化研究所論集 26 神奈川大学日本常民文化研究所 2010 株式会社平凡社
- 夢見平散策ガイドブック 浅山景他 平成 22 年 妙高市教育委員会
- SADI ニュース (2) 2009 年 9 月 15 日 SADI 組織委員会第 17 回ダニと疾患のインターフェースに関するセミナーの議事録大原綜合病院年報別刷第 49 卷平成 21 年 10 月 15 日
- 厚生労働省科学研究費補助金新興・再興感染症研究事業リケッチャ感染症の国内実態調査及び早期診断体制の確立による早期警鐘システムの構築平成 20 年度総括・分担研究報告書 [ベクター調査関係資料の抜粋] 平成 21 年 (2009)3 月 研究代表者岸本壽男 (国立感染症研究所) 研究代表者岸本壽男 (国立感染症研究所)
- 環東シナ海に収斂される媒介動物の分布特性に基づく新興再興感染症拡散経路の確定 19406008 平成 19 年度～平成 21 年度科学研究費補助金 (基盤研究 B 海外調査) 研究成果報告書別冊 平成 22 年 研究代表者高田伸弘福井大学医学部准教授
- ダニ研究 5 日本衛生動物学会「ダニ類研究班」会報 ダニ類研究班世話人高田伸弘 2010
- 妙高の植物 1 笹ヶ峰高原の植物 妙高の植物編集委員会 平成 22 年 妙高市教育委員会
- 郷土記録誌ふるさと三条第 18 号 三条市文化財保護審議会 平成 22 年 三条市
- 国立歴史民俗博物館研究報告第 157 集〔共同研究〕中・近世における生業と技術・呪術信仰 井原今朝男 平成 22 年 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館
- 国立歴史民俗博物館研究報告第 159 集平田国学の再検討(四)人名及び書名索引 宮地正人 平成 22 年 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館
- 新潟県立歴史博物館研究紀要第 10 号 新潟県立歴史博物館 2009 新潟県立歴史博物館
- 越後文書宝翰集色部氏文書 I 矢田俊文・新潟県立歴史博物館 2010 新潟大学「東部ユーラシア周縁世界の文化システムに関する資料学的研究」プロジェクト代表

關尾史郎

- 新潟県埋蔵文化財調査報告書第 205 集北陸新幹線関係発掘調査報告書 X 一般国道 8 号糸魚川東バイパス関係発掘調査報告書 IV 田伏山崎遺跡 新潟県教育委員会財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 平成 21 年 新潟県教育委員会財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 津南学叢書第 10 輯野仏の里つなん つまり石仏の会 2009 津南町教育委員会
- 船の科学館資料ガイド 10 弁才船菱垣廻船／樽廻船 (財) 日本海事科学振興財団船の科学館 平成 22 年 (財) 日本海事科学振興財団船の科学館
- The Life and Works of Aizu Yaichi-HisAesthetics,Tanka Poetry, and Calligraphy- 2010 會津八一記念館
- 読谷村立歴史民俗資料館紀要第 34 号 読谷村立歴史民俗資料館 2010 読谷村教育委員会
- 平塚市博物館年報第 33 号 平成 22 年 平塚市博物館
- 調査研究報告第三十号 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館調査収集事業部 平成 22 年 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館調査収集事業部
- 平成 22 年度企画展三芳悌吉生誕百周年記念「砂丘物語」原画展—画家三芳悌吉が描いた 1910 年代の新潟市－ 2010(平成 22) 年 4 月 24 日 (土) ～ 6 月 13 日 (日) 新潟市歴史博物館 2010 新潟市歴史博物館
- 民具研究第 141 号 日本民具学会 2010 日本民具学会
- 明治大学博物館年報 2008 年度 明治大学学術・社会連携部博物館事務室 2010 明治大学学術・社会連携部博物館事務室
- 明治大学博物館研究報告第 15 号 明治大学博物館 2010 明治大学博物館
- 神戸女子大学古典芸能研究センター紀要 3 号 神戸女子大学古典芸能研究センター 2010 神戸女子大学古典芸能研究センター
- 馬高縄文館解説シリーズ No.1 「火焔土器と馬高・三十稻場遺跡」 馬高縄文館 平成 22 年 長岡市教育委員会
- 「豪農の館伊藤家解体新書 CG で学ぶ、日本建築とその文化」事業報告書 財団法人北方文化博物館 平成 22 年 財団法人北方文化博物館
- 庚申塙古墳 3 福島県本宮市庚申塙古墳発掘調査報告書 菊地芳朗・福島大学行政政策学類考古学研究室 2010 福島大学行政政策学類・福島大学行政政策学類考古学研究室
- 関山神社の仏像 新潟県妙高市教育委員会生涯学習課 平成 22 年 新潟県妙高市教育委員会生涯学習課
- 関山宝蔵院跡測量調査報告書 新潟県妙高市教育委員会生涯学習課 平成 22 年 新潟県妙高市教育委員会生涯学習課

- 阿賀野市埋蔵文化財発掘調査報告書第3集猫山遺跡確認調査報告書 阿賀野市教育委員会 2010 阿賀野市教育委員会
- 〈特集展示〉アメリカに渡った日本人と戦争の時代 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館 2010 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館
- 歴史と地理第627号日本史の研究(226) 株式会社山川出版社 2009 株式会社山川出版社
- 土浦市立博物館年報第21号 平成21年 土浦市立博物館
- 土浦市立博物館紀要第19号 土浦市立博物館 2009 土浦市立博物館
- 世界遺産年報2010 No.15 社団法人日本ユネスコ協会連盟 2009 社団法人日本ユネスコ協会連盟
- 民具研究第140号 日本民具学会 2009 日本民具学会
- 東京都江戸東京博物館研究報告第16号 東京都江戸東京博物館都市歴史研究室 平成22年 東京都江戸東京博物館
- 東京都江戸東京博物館調査報告書第22集喜多川周之コレクション 東京都江戸東京博物館都市歴史研究室 2010 財団法人東京都歴史文化財団東京都江戸東京博物館
- 東京都江戸東京博物館調査報告書第23集酒井伴四郎日記 東京都江戸東京博物館都市歴史研究室 平成22年 東京都財団法人東京都歴史文化財団東京都江戸東京博物館
- 近世海産物経済史の研究 荒居英次先生遺著刊行会 1988 株式会社名著出版
- ものとテクノロジー北海道の物質文化研究 氏家等 2006 北海道出版企画センター
- 新潟市歴史博物館年報第1号《平成15-16年度》 新潟市歴史博物館 新潟市歴史博物館
- 新潟市歴史博物館年報第2号《平成17年度》 新潟市歴史博物館 新潟市歴史博物館
- 新潟市歴史博物館年報第3号《平成18年度》 新潟市歴史博物館 新潟市歴史博物館
- 新潟市歴史博物館年報第4号《平成19年度》 新潟市歴史博物館 新潟市歴史博物館
- 新潟市歴史博物館年報第5号《平成20年度》 新潟市歴史博物館 新潟市歴史博物館
- 新潟市歴史博物館研究紀要第6号 新潟市歴史博物館 平成22年 新潟市歴史博物館
- 新潟県立歴史博物館研究紀要第11号 新潟県立歴史博物館 2010 新潟県立歴史博物館
- 新潟県立文書館年報第18号平成21年度 新潟県立文書館 平成22 新潟県立文書館
- 江戸時代後期の雪室—長岡と塩沢の雪室を中心として— 後藤麻衣子 2005
- 論文福島県訓令による会津地方の『郷土誌』に関する研究(第1報)—福島県昭和村の『郷土誌』を事例として— 後藤麻衣子田畠久夫 2006
- 雪室の変遷と特色に関する考察—サイノカミ行事の雪室を中心として— 後藤麻衣子 2006
- 小正月行事と盆行事—秋田県羽後町元西の調査報告— 森田和陽、嶋森千尋、鈴木理子、菊池真純、後藤麻衣子 2006
- 福島県只見川中・下流域における鳥追い行事の地域的特色—雪室の役割を中心に— 後藤麻衣子 2007
- 論文神事に見られる雪室—秋田県横手市大森町波宇志別神社を事例として— 後藤麻衣子 2007
- 福島県訓令による会津地方の『郷土誌』に関する研究—金山町沼沢尋常小学校の『郷土誌』を事例として— 後藤麻衣子 2008 福島県民俗学会
- 民俗学研究会調査報告書雪国集落に伝承される年中行事—秋田県羽後町・新潟県川西町・福島県三島町— 昭和女子大学民俗学研究会 平成20年 昭和女子大学民俗学研究会
- 論文福島県訓令による会津地方の『郷土誌』に関する研究—福島県西会津町(旧野沢町)の『郷土誌』を事例として— 後藤麻衣子田畠久夫 2009
- 秋田県横手市における雪室の歴史的変遷に関する一考察 後藤麻衣子 2009
- 盆踊りと豊年祭り—福島県喜多方市山都町一ノ木の調査報告— 津田小羊子、渡辺英里子、後藤麻衣子 2009
- 論文福島県訓令による会津地方の『郷土史』の研究—山間農村地域における女性の生活に注目して— 後藤麻衣子 2009
- 学校教育と著作権ケーススタディ著作権第1集 平成17年 社団法人著作権情報センター
- 学校教育と著作権ケーススタディ著作権第1集 大和淳 平成18年 社団法人著作権情報センター
- 私の録音録画と著作権ケーススタディ著作権第2集 社団法人私の録音補償金管理協会 平成17年 社団法人著作権情報センター
- 私の録音録画と著作権ケーススタディ著作権第2集 社団法人私の録音補償金管理協会 平成18年 社団法人著作権情報センター
- 図書館と著作権ケーススタディ著作権第3集 黒澤節男 平成18年 社団法人著作権情報センター
- 図書館と著作権ケーススタディ著作権第3集 黒澤節男 平成17年 社団法人著作権情報センター
- コミックでわかる著作権おじゅる丸へイアンチョウみやびなお子様学芸大会 平成17年 社団法人著作権情

報センター

- はじめての著作権講座著作権って何？ 平成 16 年
社団法人著作権情報センター
- 市町村のしごとと著作権はじめての著作権講座Ⅱ 早稲田祐美子、原田文夫 平成 16 年 社団法人著作権情報センター
- はじめての著作権講座著作権って何？ 平成 17 年
社団法人著作権情報センター
- はじめての著作権講座Ⅱ－こんなときあなたは？著作権 Q & A 〈市町村のしごとと著作権〉 早稲田祐美子、原田文夫 平成 17 年 社団法人著作権情報センター
- マルチメディアと著作権 半田正夫 平成 17 年 社団法人著作権情報センター
- はじめての著作権講座著作権って何？ 平成 18 年
社団法人著作権情報センター
- はじめての著作権講座Ⅱ－こんなときあなたは？著作権 Q & A 〈市町村のしごとと著作権〉 早稲田祐美子、原田文夫 平成 18 年 社団法人著作権情報センター
- マルチメディアと著作権 半田正夫 平成 18 年
社団法人著作権情報センター
- 信濃第 62 卷第 6 号 信濃史学会 2010 信濃史学会
- 子ども科学技術白書 2010 年度版地球を知る冒険葉っぱはどうして緑色なの？ 佐藤年緒、牟田由喜子、松本淨 平成 22 年 独立行政法人科学技術振興機構
- 平成 21 年度氷見市立博物館年報第 28 号 氷見市立博物館 平成 22 年 氷見市立博物館
- 向島文庫目録第 1 集向島文庫(絵葉書)目録 氷見市立博物館 平成 22 年 氷見市立博物館
- 柏崎市立博物館館報第 24 号 柏崎市立博物館 平成 22 年 柏崎市立博物館
- 資料解説シリーズNo.3 山の民俗砂金掘り 1976 北海道開拓記念館
- 村のたてもの 財団法人北海道開拓の村 平成 16 年
財団法人北海道開拓の村
- 北海道開拓の村 20 周年記念誌風雪の路 財団法人北海道開拓の村 2005 財団法人北海道開拓の村
- 平成 20 年度北海道開拓の村ボランティア道外研修旅行 北海道開拓時代の浪漫を伝える先人たち～会津・庄内地方の歴史と文化～ 北海道開拓の村事業課中島宏一 平成 20 年 北海道開拓の村ボランティアの会野外博物館 北海道開拓の村(事業課)
- 平成 21 年度北海道開拓の村ボランティア道内研修旅行 ニシン千石場所に先達の夢を追う～泊・神恵内・古平・余市～ 北海道開拓の村事業課 平成 21 年 財団法人北海道開拓の村北海道開拓の村ボランティアの会
- 平成 21 年度北海道開拓の村ボランティア道外研修旅行 ニシンと藍～北前船の寄港地を訪ねる淡路島～徳島～香

- 川～岡山～鞆の浦 財団法人北海道開拓の村事業課中島宏一 平成 21 年 財団法人北海道開拓の村事業課北海道開拓の村ボランティアの会
- 平成 20 年度財団の事業報告 財団法人北海道開拓の村 平成 21 年 財団法人北海道開拓の村
- 旧武井商店酒造部の酒造道具 財団法人北海道開拓の村事業課中島宏一 平成 22 年
- 指定管理者制度下における博物館運営①－野外博物館北海道開拓の村にみるボランティア活動の取り組み－ 中島宏一 2009
- 新潟県埋蔵文化財調査報告書第 193 集日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書 XX IX 谷地遺跡八太郎遺跡 田屋道遺跡 II 宮の越遺跡 財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団株式会社シン技術コンサル 平成 22 年 新潟県教育委員会財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 新潟県埋蔵文化財調査報告書第 208 集一般国道 116 号和島バイパス関係発掘調査報告書 III 立野大谷製鉄遺跡姥ヶ入製鉄遺跡姥ヶ入南遺跡 新潟県教育委員会財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 平成 22 年 新潟県教育委員会財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 新潟県埋蔵文化財調査報告書第 209 集一般国道 8 号糸魚川東バイパス関係発掘調査報告書 V 前波南遺跡 II ・伝極楽寺跡 新潟県教育委員会財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 平成 22 年 新潟県教育委員会財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 新潟県埋蔵文化財調査報告書第 210 集北陸新幹線関係発掘調査報告書 X V 荒町南新田遺跡 新潟県教育委員会 財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 平成 22 年 新潟県教育委員会財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 新潟県埋蔵文化財調査報告書第 212 集北陸新幹線関係発掘調査報告書 VII 北前田遺跡 II ・野畔遺跡・諏訪前遺跡・北新田遺跡 II ・中田原遺跡 II ・岩ノ原遺跡 II 新潟県教育委員会財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 平成 22 年 新潟県教育委員会財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 新潟県埋蔵文化財調査報告書第 213 集日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書 XXX IV 堂の前遺跡 財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団株式会社シン技術コンサル 平成 22 年 新潟県教育委員会財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 新潟県埋蔵文化財調査報告書第 215 号一般国道 49 号阿賀野バイパス関係発掘調査報告書 II 山口遺跡 新潟県教育委員会財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 平成 22 年 新潟県教育委員会財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 新潟県埋蔵文化財調査報告書第 216 集一般国道 49 号阿賀野バイパス関係発掘調査報告書 III 柄目木遺跡 I 新

- 潟県教育委員会財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
平成 22 年 新潟県教育委員会財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 新潟県埋蔵文化財調査報告書第 218 集日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書 XXX V 下新保高田遺跡
財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団加藤建設株式会社
埋蔵文化財調査部 平成 22 年 新潟県教育委員会財団
法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 昭和のくらし研究第 8 号 昭和館 平成 22 年 昭和館
- 長岡市立科学博物館研究報告第 45 号 平成 22 年
長岡市立科学博物館
- NKH (長岡市立科学博物館報) No.94 長岡市立科学博物館 平成 22 年 長岡市立科学博物館
- 平成 21 年度秋期特別展もの・ワザ・情報—古の匠に挑む古墳時代金工品の復元 (財) 元興寺文化財研究所
平成 21 (宗) 元興寺 (財) 元興寺文化財研究所
- 新潟県埋蔵文化財調査報告書第 211 集北陸新幹線関係
発掘調査報告書 X VI一般国道 8 号糸魚川東バイパス関
係発掘調査報告書VI六反田南遺跡 II 新潟県教育委員会
財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 平成 22 年 新
潟県教育委員会財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 平成 19 年度文部科学省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」採択ダブルホーム制による、いきいき学生支援～地域協働による、学生の自律を目指す、予防的環境の構築～平成 21 年度活動報告書 2010
新潟大学教育・学生支援機構学生支援センター学生支援
部門
- 郷土史編さん誌「みなみうおぬま」第七号 (2010 年 3 月)
抜刷浦佐毘沙門講中の広がり—関連史料の紹介を兼ねて
— 滝沢繁
- 魚沼へ invitationtotheheartland2008WINTER 冬号 Vol.21
デナリパブリッシング株式会社 平成 20 年 八海醸造
株式会社
- 越後浦佐毘沙門堂裸押合大祭の記録雪と炎の奇祭 越後
浦佐毘沙門堂裸押合大祭の記録編集委員会 平成 21 年
越後浦佐毘沙門堂裸押合大祭記録保存実行委員会
- 柏崎市立博物館調査報告書第 5 集文化財たちの「復興」
—博物館がみた中越地震— 2010 柏崎市立博物館
- 土浦市立博物館年報第 22 号 平成 22 年 土浦市立
博物館
- 土浦市立博物館紀要第 20 号 土浦市立博物館 2010
土浦市立博物館
- 武蔵野大学能楽資料センター紀要第二号 武蔵野大学
能楽資料センター 2010 武蔵野大学出版会
- 大学共同利用法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館
要覧平成 22 年度 2010 年度 平成 22 年 国立歴史
民俗博物館
- 平成 22 年度人間文化研究機構連携展示アジアの境界を
越えて 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴
史民俗博物館 2010 大学共同利用機関法人人間文化
研究機構国立歴史民俗博物館
- 季刊しま No.220vol.55 – 3 (財) 日本離島センター広
報課 平成 22 年 財団法人日本離島センター
- ブックレット新潟大学 53 人はなぜわかり合えるのか—
言語学から見たコミュニケーションの仕組み—
福田一雄 2010 新潟日報事業社
- ブックレット新潟大学 50 もう一つの年金—障害者年金
の支給要件— 加藤智章 2009 新潟日報事業社
- ブックレット新潟大学 512025 年の新潟を展望する—
新潟をめぐる 7 つの課題— 田村秀 2009 新潟日報
事業社
- ブックレット新潟大学 54 『遠野物語』を読もう—柳田
国男が意図したもの— 藤井隆至 2010 新潟日報事
業社
- 第 28 回柏崎ふるさと人物館企画展図録記憶のなかの繭
—ぼこさんから糸・綿・絹まで— 平成 22 年 柏崎
ふるさと人物館
- 梅花学園生涯学習センター公開講座ブックレット vol.02
北大阪に眠る古代天皇と貴族たち—記紀万葉の歴史と文
学— 市瀬雅之 2010 梅花学園生涯学習センター
- 梅花日本論叢第 18 号 梅花女子大学大学院日本文学会
2010 梅花女子大学大学院日本文学会
- 雪第三十三巻第十二号(通巻第三九六号) 蒲原ひろし
平成 22 年 雪発行所
- 国宝・重要文化財(美術工芸品)の所有者のための手引
きこんなときどうしたらいいの? 文化庁文化財部美術
学芸課
- 名古屋市博物館年報 No.33 (平成 21 年度) 名古屋市博
物館 2010 名古屋市博物館
- 京都府埋蔵文化財情報第 112 号 平成 22 年 (財)
京都府埋蔵文化財調査研究センター
- 京都府埋蔵文化財情報第 111 号 平成 22 年 (財)
京都府埋蔵文化財調査研究センター
- 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターワーク
LINK [地域・大学・文化] Vol.2 神戸大学大学院人文学
研究科地域連携センター 2010 神戸大学大学院人文学
研究科地域連携センター
- 歴史と地理第 637 号日本史の研究 (230) 株式会社山
川出版社 2010 株式会社山川出版社
- 五體字類 西東書房法書會 昭和 50 西東書房
- 近世古文書解説字典 林英夫・若尾俊平 1972 柏書
房(株)
- 植物の名前の話 前川文夫 1981 (株) 八坂書房
- くずし字解説辞典 児玉幸多 昭和 45 年 株式会社近

藤出版社

- 〈地方史マニュアル 10〉市町村史等刊行の実務 児玉幸多・林英夫 1975 柏書房（株）
- 新潟県文化財保護の手引き 新潟県教育委員会 昭和 52 年 新潟県教育委員会
- 演習古文書選古代・中世編 日本歴史学会（代表者坂本太郎）昭和 50 年 株式会社吉川弘文館
- 演習古文書選近世編 日本歴史学会（代表者坂本太郎）昭和 51 年 株式会社吉川弘文館
- 塩沢町埋蔵文化財調査報告第 7 輯万條寺林遺跡 池田亨・荒木勇次 1988 塩沢町教育委員会
- 50 音別電話帳渡島・桧山地方 昭和 54 日本電信電話公社北海道電気通信局
- 50 音別電話帳函館市 昭和 54 日本電信電話公社北海道電気通信局
- 無形の民俗文化財記録第 6 集越後の風流獅子踊り 昭和 56 新潟県教育委員会
- 寺泊町の文化財第一集 寺泊町教育委員会 昭和 55 新潟県三島郡寺泊町
- 開校百周年記念誌乙部学校 昭和 53 乙部小学校開校百周年記念協賛会
- 県史編さんの手引き（I）新潟県総務部県史編さん室
- 日本民俗文化財事典 祝宮静・関啓吾宮本馨太郎 昭和 54 第一法規出版株式会社
- 民俗文化財の手びき—調査・収集・保存・活用のために 文化庁内民俗文化財研究会 昭和 59 年 第一法規出版株式会社
- 国立歴史民俗博物館研究報告第 160 集 国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会 平成 22 年 国立歴史民俗博物館
- 博物館研究 Vol.44 No. 10 通巻 496 号 財団法人日本博物館協会 2009 財団法人日本博物館協会
- 博物館研究 Vol.45 No. 1 通巻 499 号 財団法人日本博物館協会 2010 財団法人日本博物館協会
- 博物館研究 Vol.45 No. 2 通巻 500 号 財団法人日本博物館協会 平成 22 年 財団法人日本博物館協会
- 博物館研究 Vol.45 No. 3 通巻 501 号 財団法人日本博物館協会 平成 22 年 財団法人日本博物館協会
- 博物館研究 Vol.45 No. 4 通巻 502 号 財団法人日本博物館協会 平成 22 年 財団法人日本博物館協会
- 博物館研究 Vol.45 No. 5 通巻 503 号 財団法人日本博物館協会 平成 22 年 財団法人日本博物館協会
- 博物館研究 Vol.45 No. 6 通巻 504 号 財団法人日本博物館協会 2010 財団法人日本博物館協会
- 博物館研究 Vol.45 No. 7 通巻 505 号 財団法人日本博物館協会 2010 財団法人日本博物館協会
- 博物館研究 Vol.45 No. 8 通巻 506 号 財団法人日本博物

館協会 2010 財団法人日本博物館協会

- 博物館研究 Vol.45 No. 9 通巻 507 号 財団法人日本博物館協会 2010 財団法人日本博物館協会
- 博物館研究 Vol.45 No. 10 通巻 508 号 財団法人日本博物館協会 2010 財団法人日本博物館協会
- エプタ第 46 号 エプタ編集室 2010 肌粧品科学開放研究所
- エプタ第 47 号 エプタ編集室 2010 肌粧品科学開放研究所
- エプタ第 48 号 エプタ編集室 2010 肌粧品科学開放研究所
- エプタ第 49 号 エプタ編集室 2010 肌粧品科学開放研究所
- エプタ第 50 号 エプタ編集室 2011 肌粧品科学開放研究所
- 民具マンスリー第 42 卷 11 号 神奈川大学日本常民文化研究所 2010 神奈川大学日本常民文化研究所
- 民具マンスリー第 42 卷 12 号 神奈川大学日本常民文化研究所 2010 神奈川大学日本常民文化研究所
- 民具マンスリー第 43 卷 1 号 神奈川大学日本常民文化研究所 2010 神奈川大学日本常民文化研究所
- 民具マンスリー第 43 卷 2 号 神奈川大学日本常民文化研究所 2010 神奈川大学日本常民文化研究所
- 民具マンスリー第 43 卷 3 号 神奈川大学日本常民文化研究所 2010 神奈川大学日本常民文化研究所
- 民具マンスリー第 43 卷 4 号 神奈川大学日本常民文化研究所 2010 神奈川大学日本常民文化研究所
- 民具マンスリー第 43 卷 5 号 神奈川大学日本常民文化研究所 2010 神奈川大学日本常民文化研究所
- 民具マンスリー第 43 卷 6 号 神奈川大学日本常民文化研究所 2010 神奈川大学日本常民文化研究所
- 民具マンスリー第 43 卷 7 号 神奈川大学日本常民文化研究所 2010 神奈川大学日本常民文化研究所
- 民具マンスリー第 43 卷 8 号 神奈川大学日本常民文化研究所 2010 神奈川大学日本常民文化研究所
- 民具マンスリー第 43 卷 9 号 神奈川大学日本常民文化研究所 2010 神奈川大学日本常民文化研究所
- 民具マンスリー第 43 卷 10 号 神奈川大学日本常民文化研究所 2011 神奈川大学日本常民文化研究所
- 季刊「朱鷺」朱夏・第二号 2009 朱鷺発行所
- 佐渡金銀山佐渡金山遺跡（北沢地区）旧佐渡鉱山工作工場群跡発掘調査報告書 平成 22 年 佐渡市世界遺産推進課、佐渡市教育委員会
- 佐渡金銀山遺跡調査報告書第 14 集佐渡金銀山鶴子銀山跡分布調査報告書 平成 22 年 佐渡市世界遺産推進課、佐渡市教育委員会
- 「富山史壇」第一六〇号二〇〇九年（平成 21 年）十二

- 月越中史壇会論文江戸幕府撰佐渡国絵図の特徴
野積正吉
- 佐渡・越後文化交流史研究第二号 新潟大学大学院現代社会文化研究科プロジェクト佐渡・越後の文化交流史展 平成14年 新潟大学大学院現代社会文化研究科プロジェクト佐渡・越後の文化交流史展
- 佐渡・越後文化交流史研究第10号 新潟大学大学院現代社会文化研究科新潟大学人文学部プロジェクト佐渡・越後の文化交流史展 平成22年 新潟大学大学院現代社会文化研究科新潟大学人文学部プロジェクト佐渡・越後の文化交流史展
- 満潮 昭和6～ 越佐文献社
- 佐渡金銀山近代化遺産保存管理計画（その1）業務委託報告書 相川町株式会社グリーンシグマ 平成16年 相川町・株式会社グリーンシグマ
- 柳屋清二所蔵能番組
- 赤泊地区天狗塚修験関係資料
- （佐渡市教育委員会研究委託事業）佐渡島内民俗芸能保持団体状況調査研究委託業務（財）佐渡博物館 平成22年（財）佐渡博物館
- 佐渡金銀山に関わる資料をヨーロッパに訪ねて 橋本博文 2010 新潟大学旭町学術資料展示館
- 教職取調佐渡の神職者 明治9～14年
相川寺社一
相川寺社二
- 羽黒城の銃座・岩坂のお墓現地巡見
- 豊田を歩いて見よう 平成22年 豊田誌研究会
- 中興乃名所あれこれ 平成22年 中興史の会
- 山本半右衛門家伝来の試金石 計良勝範 平成22年
- 高志路新潟県の郷土と民俗（通巻第229号・第230号 合併号） 渡辺赳夫 昭和49年 新潟県民俗学会
- 高志路第251号 渡辺赳夫 昭和54年 新潟県民俗学会
- 高志路第252・253合併号 渡辺赳夫 昭和54年 新潟県民俗学会
- 高志路第254号 渡辺赳夫 昭和54年 新潟県民俗学会
- 高志路第257号 森谷周野 昭和55年 新潟県民俗学会
- 高志路第258号 森谷周野 昭和56年 新潟県民俗学会
- 高志路第263号 森谷周野 昭和57年 新潟県民俗学会
- 高志路第265号 森谷周野 昭和57年 新潟県民俗学会
- 高志路第267号 森谷周野 昭和57年 新潟県民俗学会
- 高志路第276号 森谷周野 昭和60年 新潟県民俗学会
- 佐渡島から得られたニホンネズミについて 佐藤春雄・吉行瑞子 2010
- （佐渡市教育委員会研究委託事業）佐渡市における近世初期社寺建築と工匠に関する調査研究 特定非営利活動法人佐渡文化財研究所 平成22年 特定非営利活動法人佐渡文化財研究所

- 九州大学総合研究博物館所蔵鉱山関連文書目録
- 映像民俗学4－20周年記念誌－ 亘純吉（代表）牛島巖・北村皆雄・大塚正之・松島岳生・吉田成己 1998 日本映像民俗学の会
- 海峡を越えて－佐渡と越後－ 新潟市歴史博物館 平成22年 新潟市歴史博物館
- 離島佐渡－その過去・現在・近未来－ 島津光夫 1998 株式会社野島出版
- 山王祭の山車調査概報 平成22年 佐渡市教育委員会社会教育課佐渡学センター
- 〈研究報告〉シナ布の流通とその利用の実態 米村創 2010
- シナ布生産技術の多様性－伝承、文献、現在の生産による比較を通して－ 米村創 2010
- 佐渡市羽茂「仮屋の棚人形」のかしら 加納克巳 平成22年
- 下久知区有文書目録 下久知郷史編さん委員会 平成22年
- 佐渡の海村風土記－片野尾誌－ 片野尾郷土誌刊行委員会 平成22年 片野尾郷土誌刊行委員会
- 算法記筋金斤合
- 英靈のおもかげ 新潟県佐渡郡赤泊村 昭和57年 赤泊村遺族会
- 新潟県農地改革史前史 嶋岡七郎 昭和31年 新潟県農地改革史刊行会
- 新潟県農地改革史改革顛末 新潟県農地部農地開拓課 昭和3年8月 新潟県農地改革史刊行会
- 私の日本地図7・佐渡 宮本常一 昭和45年 株式会社同友館
- 佐渡郡赤泊村山田の郷土史 新潟県佐渡郡赤泊村大字三川山田 昭和47年 山田の郷土史編集委員会
- 春駒の文化史 本間雅彦 昭和58年 てずから工房
- 佐渡略記 水澤平八郎 昭和54年 三盛館株式会社
- 越後の民家上越編 昭和55年 新潟県教育委員会
- 越後の民家中越編 昭和54年 新潟県教育委員会
- 越後の民家下越編 昭和56年 新潟県教育委員会
- 佐渡の民家 昭和53年 新潟県教育委員会
- 佐渡の竹細工 数馬浅治 昭和57年 数馬竹工所
- 真野町の文化財I 考古資料 真野町文化財保護審議会 昭和53年 真野町教育委員会
- 赤泊と北海道 赤泊村教育委員会 昭和55年 赤泊村教育委員会
- 金井町文化財調査報告書第IV集泉畠遺跡 本間嘉晴 昭和59年 金井町教育委員会
- 徳和の口碑・伝説その他 高木彦治 昭和45年 徳和老人クラブ千歳会
- 江差の繁次郎 江差観光協会 昭和53年 江差観光協会

会

- 糸魚川市史2 糸魚川市役所 昭和52年 糸魚川市役所
- 糸魚川市史3 糸魚川市役所 昭和53年 糸魚川市役所
- 糸魚川市史4 糸魚川市役所 昭和54年 糸魚川市役所
- 糸魚川市史5 糸魚川市役所 昭和56年 糸魚川市役所
- 汰板—創刊号— 歴史と地域研究協議会 昭和52年 歴史と地域研究協議会
- しま第八十号（第二十巻第三号）財団法人日本離島センター 昭和50年 財団法人日本離島センター
- 寺泊町史研究第一号 寺泊町史編さん委員会 昭和60年 寺泊町
- 寺泊町史研究第二号 寺泊町史編さん委員会 昭和61年 寺泊町
- 寺泊町史研究第三号 寺泊町史編さん委員会 昭和62年 寺泊町
- 松前藩と松前（九号）松前町史編集室 昭和51年 松前町史編集室
- 松前藩と松前（十号）松前町史編集室 昭和52年 松前町史編集室
- 松前藩と松前（十二号）松前町史編集室 昭和53年 松前町史編集室
- 西郊民俗第七十九号 西郊民俗談話会 昭和52年 西郊民俗談話会
- 西郊民俗第八十号 西郊民俗談話会 昭和52年 西郊民俗談話会
- 越佐の小正月行事—越後・佐渡の農耕儀礼調査報告書I — 昭和57年 新潟県教育委員会
- 新潟県の作神信仰—越後・佐渡の農耕儀礼調査報告書II — 昭和57年 新潟県教育委員会
- 佐渡腰細の民俗—新潟県佐渡郡赤泊村腰細— 西郊民俗談話会 昭和53年 赤泊村教育委員会
- 重要文化財小比叡神社本殿修理工事報告書 財団法人文化財建造物保存技術協会 昭和54年 重要文化財小比叡神社社殿修理委員会
- 佐渡鷺流狂言 真野町教育委員会 昭和57年 真野町教育委員会
- 佐渡博物館研究報告第七集 菊池勘左工門 昭和52年 財団法人佐渡博物館
- 新潟県遺跡目録—新潟県文化財年報第六— 新潟県教育委員会 昭和42年 新潟県教育委員会
- 下畠玉作遺跡第一次緊急調査概要 畠野町教育委員会 昭和47年 畠野町教育委員会
- 下国府遺跡新潟県佐渡郡真野町下国府遺跡発掘調査報告 昭和52年 真野町教育委員会
- 史跡下国府遺跡昭和52～54年度環境整備事業報告書 昭和55年 真野町教育委員会
- 馬場遺跡新潟県佐渡郡相川町北片辺馬場遺跡発掘調査報

告 本間嘉晴 昭和58年 相川町教育委員会

- 吉住城址新潟県両津市吉住城址発掘調査報告 本間嘉晴 昭和57年 両津市教育委員会
- 真木城址新潟県両津市真木城址発掘調査報告 本間嘉晴 昭和58年 両津市教育委員会
- 羽茂城址緊急発掘調査報告書 羽茂城址緊急発掘調査団 昭和59年 新潟県佐渡郡羽茂町教育委員会
- 浜田遺跡新潟県佐渡郡真野町浜田遺跡発掘調査報告書 本間嘉晴・関雅之・本間信昭 昭和50年 真野町教育委員会
- 後山遺跡発掘調査新潟県佐渡郡後山遺跡発掘調査概報 昭和55年 畑野町教育委員会
- 矢田ヶ瀬遺跡新潟県佐渡郡矢田ヶ瀬発掘調査報告 昭和55年 新穂村教育委員会
- 竹田沖条里新潟県佐渡郡竹田沖条里遺構発掘調査概報 昭和53年 畑野町教育委員会
- 竹田沖条里新潟県佐渡郡竹田沖条里緊急発掘調査概報 昭和53年 畑野町教育委員会
- 金井町文化財調査報告書第II集堂の貝塚新潟県佐渡郡金井町堂の貝塚発掘調査報告 昭和52年 金井町教育委員会佐渡考古歴史学会
- 佐和田町の石塔類調査—第一集— 佐和田町文化財保護審議会 昭和56年 佐和田町教育委員会
- 佐和田町の文化財 [改訂] 佐和田町文化財保護審議会 昭和60年 佐和田町教育委員会
- 新穂村文化財 昭和55年 新穂村教育委員会
- 両津市文化財調査報告書第九集 両津市文化財調査審議会 昭和58年 両津市教育委員会
- 羽茂の歴史III 海老名保作 昭和53年 羽茂町教育委員会
- 御田植神事 五所神社御田植神事保存会 昭和53年 五所神社御田植神事保存会
- 下横山村神蔵家文書 昭和50年 神蔵一郎
- 越左研究第二十二集 新潟県人文研究会 昭和40年 新潟県人文研究会
- 長者ヶ平 小林達雄・青木豊 昭和58年 新潟県佐渡郡小木町教育委員会
- 展示解説シリーズNo.1「海—両津湾と加茂湖の漁業」 両津市郷土博物館 昭和57年 両津市郷土博物館
- 昭和五十五年度特別展報告書佐渡相川の絵馬 相川郷土博物館 昭和57年 相川郷土博物館
- くらしとわら細工 本間禎吉 昭和61年 金井町教育委員会
- 旧相川県・旧佐渡郡役所文書 昭和56年 新潟県史編さん室
- 赤泊村第二次総合整備計画のびゆく住みよい郷土建設のために 昭和55年 新潟県佐渡郡赤泊村

- 文書資料目録（第2輯） 昭和50年 金井町史編纂委員会
- 文字別文書資料目録 金井町史編纂委員会
- 森知幾（もりちき）と地方自治（二） 佐渡相川・もりちかし 1982
- 短編小説・紀行文「佐渡が島」 長塚節 東京春陽堂版
- 佐渡国小木の文化財—附録小木民俗博物館の案内— 昭和4年8月 小木町教育委員会
- 文書資料目録（仮） 昭和50年 金井町史編纂委員会
- 佐渡博物館々報第21号 菊池勘左エ門 昭和48年 財団法人佐渡博物館
- 佐渡博物館々報第22号 菊池勘左エ門 昭和49年 財団法人佐渡博物館
- 佐渡博物館々報第23号 菊池勘左エ門 昭和50年 財団法人佐渡博物館
- 佐渡博物館々報第24号 菊池勘左エ門 昭和51年 財団法人佐渡博物館
- 市指定文化財有形文化財美術工芸品佐渡国絵図画像データ
- （佐渡島）《VISA》 平成22年 VISA編集室
- 佐渡が島ガイドブック 佐渡汽船（株）販売課 2003 佐渡汽船株式会社・新潟交通株式会社・佐渡観光旅館連盟
- 市指定文化財有形文化財美術工芸品佐渡国絵図画像データ
- 立正大学大学院仏教研究会仏教學論集No.27 抜刷日興本尊授与書にみる日興とその門弟 本間俊文 平成22年
- 立正大学大学院年報第二七号抜刷日興文書にみる日興と弟子檀越 本間俊文 平成22年
- 三国隆敏家資料調査目録 平成22年
- 平成22年度調査研究委託振矩術阿部誠之「校正振矩術」 大藏家「諸算術集」青木家「振矩術」資料関係綴 金子勉 平成22年
- 佐渡地域誌研究第8号 佐渡地域誌研究会事務局 平成22年 佐渡地域誌研究会
- 高志路第378号 鶴巻武則 平成22年 新潟県民俗学会
- 佐渡の鳥上
- 佐渡金銀山史話1 麓三郎 昭和48年 三菱金属工業株式会社
- 佐渡金銀山史話2 麓三郎 昭和48年 三菱金属工業株式会社
- 佐渡金銀山史話3 麓三郎 昭和48年 三菱金属工業株式会社
- 遠い海鳴りの町 田中志津 昭和54年 光風社出版
- CARREL キャレル Vol. 202 新潟日報事業社 2011 新潟日報サービスセンター
- 「振矩術に関する調査研究」報告書 金子勉 平成22年 新潟県佐渡市教育委員会社会教育課佐渡学センター

- 本間寅雄著作目録 斎藤武彦・斎藤淳子・北見繼仁 2011 本間寅雄著作目録編纂委員会
- 佐渡学センター一年報創刊号（平成21年度版） 佐渡学センター 平成22年 佐渡学センター
- イノシシ飼育 山崎京美 平成22年 株式会社同成社
- 佐渡国分寺古瓦拓本集 山本半蔵 昭和53年 山本修之助
- 佐渡市教育委員会社会教育課佐渡学センター研究委託事業「振矩術に関する調査研究」報告書 78頁－159頁の原稿
- 旧佐渡支庁移管文書（登録番号43・資料名31491／2）
- 旧佐渡支庁移管文書（登録番号43・資料名31492／2）
- 旧佐渡支庁移管文書（登録番号44・資料名31501／2）
- 旧佐渡支庁移管文書（登録番号44・資料名31502／2）
- 旧佐渡支庁移管文書（登録番号45・資料名31511／2）
- 旧佐渡支庁移管文書（登録番号45・資料名31512／2）

2 相川郷土博物館、相川技能伝展示承館、史跡佐渡奉行所跡、相川文書館

- 南ぬ風 vol13 財団法人 海洋博覧会記念公園管理財団
- 佐渡金銀山 佐渡金銀山遺跡（北沢地区） 佐渡市世界遺産推進課
- 佐渡金銀山 鶴子銀山跡分布調査報告書 佐渡市世界遺産推進課
- 海峡を越えて佐渡と新潟 新潟市歴史博物館
- 南ぬ風 vol16 財団法人 海洋博覧会記念公園管理財団
- 歴史と民俗26 特集 歴史と民俗の語り方 神奈川大学日本常民文化研究所論集26
- 国立歴史民俗博物館研究報告 第158集 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
- 縄文 青森県教育庁
- 国立歴史民俗博物館研究報告 第159集 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
- 平成21年度美術館・博物館活動基盤整備支援事業 文化庁文化財部美術学芸課
- アジアの境界を越えて 国立歴史民俗博物館
- 記憶の中の繭 柏崎ふるさと人物館
- 柏崎市立博物館 館報 柏崎市立博物館
- 柏崎のサカヤモン 柏崎ふるさと人物館
- 引き札 渋川市教育委員会
- 新潟県埋蔵文化財調査事業団年報 財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団
- いしづみ人物伝 柏崎ふるさと人物館
- 豊後の水車習俗 文化庁文化財部
- 辻堂の習俗V 文化庁文化財部
- 新潟県立歴史博物館年報 第8号 新潟県歴史博物館
- 歴史と民俗 26 特集 歴史と民俗の語り方 神奈

- 川大学日本常民文化研究所論集 26
 ○新春企画 小黒五稜書作展 新潟市豊栄博物館
 ○道の神さま 渋川市教育委員会
 ○国立歴史民俗博物館研究報告 第160集 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
 ○国立歴史民俗博物館研究報告 第162集 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

3 佐渡国小木民俗博物館、海運資料館、幸丸展示館

- 菱垣廻船 / 樽廻船 (財) 日本海事科学振興財団
 船の科学館
 ○社会貢献活動レポート 2010 コスモ石油
 ○南ぬ風 vol 13 財団法人 海洋博覧会記念公園管理財団
 ○佐渡金銀山 佐渡金銀山遺跡(北沢地区) 佐渡市
 世界遺産推進課
 ○佐渡金銀山 鶴子銀山跡分布調査報告書 佐渡市
 世界遺産推進課
 ○第一回文化遺産アイデアコンペティション実施報告書
 立命館大学 防災 S R C 事務局
 ○海峡を越えて佐渡と新潟 新潟市歴史博物館
 ○竹を極める
 ○南ぬ風 vol 16 財団法人 海洋博覧会記念公園管理財団
 ○歴史と民俗 26 特集 歴史と民俗の語り方
 神奈川大学日本常民文化研究所論集 26
 ○国立歴史民俗博物館研究報告 第158集
 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
 ○縄文 青森県教育庁
 ○国立歴史民俗博物館研究報告 第159集
 大学 共同利用機関法人 人間文化研究機構
 ○平成21年度美術館・博物館活動基盤整備支援事業
 文化庁文化財部美術学芸課
 ○アジアの境界を越えて 国立歴史民俗博物館
 ○記憶の中の繭 柏崎ふるさと人物館
 ○柏崎市立博物館 館報 柏崎市立博物館
 ○エプタ VOL 48 ヒノキ新薬株式会社
 ○エプタ VOL 49 ヒノキ新薬株式会社
 ○海事レポート 国土交通省
 ○柏崎のサカヤモン 柏崎ふるさと人物館
 ○引き札 渋川市教育委員会
 ○新潟県埋蔵文化財調査事業団年報 財団法人 新潟
 県埋蔵文化財調査事業団
 ○いしぶみ人物伝 柏崎ふるさと人物館
 ○豊後の水車習俗 文化庁文化財部
 ○辻堂の習俗V 文化庁文化財部
 ○佐渡市埋蔵文化財調査年報 平成18年度 佐渡市

教育委員会

- 世界遺産フォーラム
 ○佐渡無名異焼 資料集成 佐渡市教育委員会文化振興課
 ○新潟県立歴史博物館年報 第8号 新潟県歴史博物館
 ○日本大学生物資源科学部博物館 第19号 日本大学生
 物資源科学部博物館
 ○歴史と民俗 26 特集 歴史と民俗の語り方
 神奈川大学日本常民文化研究所論集 26
 ○新春企画 小黒五稜書作展 新潟市豊栄博物館
 ○道の神さま 渋川市教育委員会
 ○国立歴史民俗博物館研究報告 第160集 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
 ○国立歴史民俗博物館研究報告 第162集 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

4 佐渡植物園

- 植物園だより Volume40 新潟県立植物園
 ○植物園だより Volume41 新潟県立植物園
 ○植物園だより Volume42 新潟県立植物園
 ○植物園だより Volume43 新潟県立植物園

5 新穂歴史民俗資料館、金井歴史民俗資料館、明治紀念堂(開導館)

なし

VI 日誌抄

1 両津郷土博物館

4月 9日（金）佐渡学センター月例会
 4月 28日（水）金井小学校 見学
 5月 10日（月）佐渡学センター月例会
 5月 30日（日）中宮寺日野西光尊講演会（講演・鼎談・文弥人形公演）
 6月 9日（水）春日小学校 見学
 6月 13日（日）内海府小学校 下見
 6月 14日（月）佐渡学センター月例会
 6月 20日（日）吉井本郷公民館 見学
 6月 23日（水）北海道泊村教育委員会 視察
 6月 24日（木）内海府小学校 見学
 6月 24日（木）河崎小学校 見学
 6月 26日（土）第1回ジオパーク市民講座開講
 7月 3日（土）～4日（日）維新期研究会 開催
 7月 7日（水）佐渡学センター月例会
 7月 24日（土）～25日（日）第2回ジオパーク市民講座
 8月 9日（月）佐渡学センター月例会
 8月 25日（水）高齢者学級 見学
 8月 28日（土）世阿弥シンポジウム
 8月 28日（土）～29日（日）第3回ジオパーク市民講座
 9月 6日（月）佐渡学センター月例会
 9月 11日（土）～12日（日）第4回ジオパーク市民講座
 9月 14日（火）行谷小学校 見学
 9月 16日（木）五泉南小学校 海藻標本作り体験
 9月 22日（水）七浦小学校 見学
 9月 25日（土）～26日（日）第5回ジオパーク市民講座
 10月 2日（土）プレ佐渡学セミナー
 10月 3日（日）佐渡学セミナー
 10月 8日（金）東京都利島教育委員会 視察
 10月 10日（日）島暮らし佐渡体験交流会 視察
 10月 13日（水）佐渡学センター月例会
 10月 16日（土）～17日（日）映像民俗学会
 10月 19日（火）金井地区寿大学 見学
 10月 23日（土）～24日（日）第6回ジオパーク市民講座

10月 28日（木）佐渡中等教育学校 見学
 10月 28日（木）社会福祉協議会「ふるさと訪問事業」見学
 11月 6日（土）二宮小学校 下見
 11月 9日（火）佐渡学センター月例会
 11月 10日（水）文化財保護パトロール委員研修
 11月 11日（木）北海道開拓の村 観察
 11月 12日（金）東中学校 総合学習
 11月 15日（月）文化振興懇談会
 11月 18日（木）加茂小学校 見学
 11月 19日（金）新潟県立文書館 調査
 11月 22日（月）畠野地区移動産業講座 見学
 11月 25日（木）博物館協議会
 11月 27日（土）第7回ジオパーク市民講座（荒天により、28日（日）の講座は順延）
 12月 4日（土）第8回ジオパーク市民講座
 12月 8日（水）佐渡学センター月例会
 1月 22日（土）第9回ジオパーク市民講座
 1月 31日（月）佐渡学センター月例会
 2月 4日（金）ライオンズクラブ研修会 所長講義
 2月 9日（水）環境行政コース 所長講義
 2月 20日（日）ミニシンポジウム「佐渡ジオパークとはなにか—ジオパーク講座から思うこと—」
 2月 21日（月）佐渡市歴史文化基本構想等策定委員会所長出席
 2月 26日（土）～27日 第10回ジオパーク市民講座及び修了式
 3月 5日（土）ジオツアー（バス見学会）
 3月 6日（日）ジオパーク関係者打合会
 ジオパークフォーラム
 3月 9日（水）佐渡学センター月例会
 3月 29日（火）河崎保育園見学
 3月 30日（水）佐渡市博物館協議会

2 相川郷土博物館

4月 12日（月）佐渡市教育委員会南教育事務所 山村留学 施設見学
 4月 15日（木）羽茂中学校 見学 25人
 4月 26日（月）絵巻撮影 （株）タカヨシ渋川氏、カメラマン渡部氏

4月 28日(水) 相川中学校 見学 40人、金井小学校
見学 59人

5月 7日(金) 加茂小学校 見学 40人

5月 15日(土) 佐渡市役所地域振興課 見学 4人

5月 23日(日) 高千小学校 見学 9人

5月 31日(月) 赤泊中学校 見学 19人

6月 6日(日) 二宮小学校 見学 36人

6月 8日(火) 新潟市立歴史博物館に資料貸し出し

7月 3日(土) 渋海小学校 見学 27人

7月 5日(月) 須田家親族 須田家文書資料閲覧の為
来館

7月 7日(水) 金泉小学校 見学 10人
新潟県立歴史博物館へ資料貸し出し

7月 23日(金) 相川小学校先生 2人見学

7月 27日(火) ママの森幼稚園ニュートンくらぶ 見学
20人

9月 10日(金) 尾花地域の茶の間

9月 22日(水) 相川小学校 見学 22人

10月 7日(木) 畑野中学校 見学 3人

10月 24日(日) 赤泊小学校 先生 2人下見

11月 10日(水) 佐渡市役所総合政策課 2人、世界遺産
推進課長 見学

11月 11日(木) (財)北海道開拓の村 見学 27人

11月 15日(月) 新潟大学斎藤助教授他 4人 浜端洞穴
出土遺物を人善町民館で調査

11月 16日(火) 相川中学校 1年生 3人 見学

11月 17日(水) 加茂小学校 見学 5人、新潟県教育
委員会文化行政課 見学 2人

11月 26日(金) 佐渡市役所世界遺産推進課 見学 11人

12月 6日(月) 赤泊小学校 見学 30人

1月 25日(火)～27日(木) 新潟大学斎藤助教授
浜端洞穴出土遺物実測

2月 7日(月) 企画展「博物館収蔵品展Ⅰ」開始

2月 15日(火) ファミリーオ佐渡相川 新人研修 7人

3 相川技能伝承展示館

4月 10日(土) 佐渡市役所市民生活課 年金係 陶芸体
験 7人

4月 15日(木) 羽茂中学校 陶芸体験 25人

4月 22日(木) 七浦小学校 陶芸体験 18人

4月 28日(水) 金井小学校 陶芸体験 59人

5月 7日(金) 加茂小学校 陶芸体験 25人、裂織り
体験 13人

5月 14日(金) 佐渡市教育委員会北教育事務所 陶芸体
験 9人

5月 23日(日) 高千小学校 4・5年生 陶芸体験 21人

6月 6日(日) 二宮小学校 陶芸体験 35人

6月 6日(日) 金井吉井小学校 陶芸体験 20人

6月 13日(日) 金泉小学校 陶芸体験 12人

6月 22日(火) 相川小学校 5年PTA 陶芸体験 18人

6月 25日(金) 後山小学校 陶芸体験 14人

7月 31日(土) 沢根小学校 2年生 陶芸体験 19人

10月 7日(木) 畑野中学校 陶芸体験 3人

10月 24日(日) 佐渡市役所生物多様性推進室 裂織り
体験 7人 陶芸体験 8人

10月 30日(土) 佐渡市役所 陶芸体験 16人

11月 21日(日) 佐渡観光協会相川支部 陶芸体験 1人

11月 30日(火) 小木小学校 陶芸体験 6人 裂織り
体験 2人

4 佐渡国小木民俗博物館

4月 5日(月) 蓮野小学校・黒川三小学校修学旅行下見

4月 8日(木) 七浦小学校下見

4月 9日(金) 消火器の取替え

4月 12日(月) 山村留学事業「羽茂自然学園」見学

4月 14日(水) 羽茂中学校 見学 31人

4月 16日(金) 新穂中学校 見学 18人

4月 28日(水) 相川中学校 見学 60人

5月 9日(日) 新潟大学留学生 見学 87人

5月 10日(月) 白山丸友の会役員会

5月 12日(水) 深浦小学校教諭、遠足材料検討

5月 13日(木) さつまいも畑、用土搬入

5月 17日(月) さつまいも畑、耕耘

5月 18日(火) 畑の畝つくり

5月 19日(水) 小木幼稚園 さつまいも植え

5月 26日(水) 北海道開拓の村、下見

5月 28日(金) 内海府中学校 見学 8人

6月 17日(木) 相川町屋保存資料作成のため 5人

6月 25日(金) UXビジョンテレビ放送用取材

6月 29日(火) 幼稚園さつまいも畑の草取り

7月 2日(金) 白山丸友の会合同会議

7月 4日(日) 小木小学校 5年生学年行事、火おこし体験

7月 8日(木) 白山丸友の会臨時総会

7月 9日(金) 武田鉄矢 見学(社会教育課)

7月 12日(月) 収蔵庫屋根修理、国学院大学 3人

(社会教育課)

7月 14日(水) 工作室保管の考古資料館運搬、小木地区交通安全協会総会(白山丸祭り関連)

7月 15日(木) 愛知豊田市議視察 8人、鳥小屋の屋根修理

7月 16日(金) 白山丸友の会最終会議

7月 21日(水) 木羽小屋横水漏れ

7月 22日(木) 水道管腐食のため水漏れ、修理

7月 23日(金) 白山丸祭りの準備

7月 24日(土) 白山丸祭り前夜祭

7月 25日(日) 白山丸祭り

7月 26日(月) 白山丸祭り片付け

7月 31日(土) 入間市吉田副市長他 2人視察

8月 6日(金) NST取材、里田まい佐渡PR撮影

8月 11日(水) UX撮影(スザンヌ、相沢まき、小木中学校ボランティアガイド部)

8月 23日(月) 佐渡高等学校 見学 52人

8月 27日(金) 新潟県観光協会下見

8月 29日(日) 定住対策の一環である島暮らしの佐渡体験交流会 6人(佐渡市役所地域振興課)

9月 8日(水) 新潟県副知事視察

9月 9日(木) 相模大学見学(佐渡市役所観光課)

9月 12日(日) 観光課減免(外国人)

9月 16日(木) 消防設備点検

10月 5日(火) 小木幼稚園 さつまいも掘り

10月 7日(木) TENY「新潟一番」撮影

10月 19日(火) ツーデーウォーク テント張り

10月 20日(水) ツーデーウォーク

10月 22日(金) 白山丸友の会役員会

11月 12日(金) 近畿圏マスコミ関係者、視察

11月 16日(火) 小木小学校、見学

11月 19日(金) 西香園作業、深浦小学校4年生、見学 6人

11月 20日(土) 西香園作業

11月 24日(水) 羽茂小学校4年生 見学 26人

12月 1日(水) 企画展『島の原風景』開始、小木小学校6年生 見学 24人、新潟日報企画展取材

12月 7日(火) 佐渡テレビ企画展取材、板図運搬

12月 8日(水) 板図下見

12月 10日(金) CNSテレビ企画展取材

12月 14日(火) 板図撮影

1月 4日(火) 企画展の片付け

1月 15日(土) 河崎小学校先生 下見 1人

1月 24日(月) 白山丸友の会役員会

1月 31日(月) ジオパーク企画展、CNS事前取材

2月 1日(火) 企画展『ジオパークって、なあに? ~小木半島編~』開始、受付場所を展示館の事務所にうつす。

2月 2日(水) 佐渡テレビ、ジオパーク企画展取材

2月 3日(木) 新潟日報、ジオパーク企画展取材

2月 17日(木) 消防設備点検

2月 18日(金) 元観光庁長官来館

3月 1日(火) 企画展の片付け

3月 10日(木) 消防機器部品取替え

3月 11日(金) 佐渡看護学校、見学 21人

3月 26日(土) 帆船海王丸クラブ中條弘子 取材・見学

3月 30日(水) 小川小学校教諭、修学旅行下見

5 海運資料館

4月 4日(日) 休館中…(有) 加藤塗装店代表取締役、フランス人、見学

4月 21日(水) 休館中…(株) 第一印刷所、撮影

4月 28日(水) 相川中学校2年生(自主研修)見学

4月 30日(金) 観光協会南佐渡支部(田中) 視察、越後交通(修学旅行)下見

5月 6日(木) 小木行政サービスセンターワン長視察

5月 24日(月) 新潟交通(定期観光)下見、新潟県立海洋高校海洋科学科1年生入館

5月 26日(水) 新潟県立海洋高校海洋科学科1年生入館

6月 2日(水) ときわ会、入館

6月 9日(水) (株) 第一印刷所、入館(佐渡市情報誌「えーる」第5号へ掲載のため撮影)、添乗員下見

6月 18日(金) 佐渡汽船(株) 案内、庄支トラベル下見

6月 20日(日) 高藤一郎平氏、案内(2人入館)

7月 6日(火) 日本交通(株) 運転手、見学

7月 15日(木) 展示パネル設置

7月 20日(火) 小木小学校6年生担任教諭、下見

7月 21日(水) 小木小学校6年生(総合学習)、見学

8月 13日(金) クラブツーリズム添乗員、見学

8月 15日(日) 寺島棟氏 資料寄託者(千石船 栄丸・天満丸)見学、笹井 浩氏(佐渡観光検定合格者)見学

8月 23日(月) ふるさと里帰りキャンペーン(3人)見学

8月 28日(土) 中野 金吾氏(佐渡観光検定合格者)見学

8月 30日(月) 小木小学校・深浦小学校教諭(2人)下見

9月 11日(土) 佐渡市観光商工課(上越市柿崎区分室)

見学

- 9月 14日(火) 小木小学校・深浦小学校、見学
- 9月 22日(水) 佐渡市教育委員会文化財室(3人)、視察
- 9月 27日(月) 川上昭廣氏(佐渡観光検定合格者) 見学、
金沢大学 佐々木花江氏(他1人) 入館(撮影)
- 9月 28日(火) 小木ふれあいガイド 清水勝昭氏案内
(いきいき探検隊)、いきいき探検隊(13人) 入館
- 10月 16日(土) 十文字 修氏(佐渡観光検定合格者)
見学
- 10月 21日(木) トキツーデーウォーク参加者 見学 3人
- 11月 10日(水) HBCトラベルサービス添乗員見
学(北海道開拓の村ボランティアの会)、北海道開拓の村
ボランティアの会(27人) 入館
- 11月 30日(火) 小木小学校6年生(総合学習、小木の歴
史学習) 見学
- 12月 20日(月) 白杵教育長、渡邊社会教育課長視察
- 2月 2日(水) 九州大学大学院芸術工学府 金 球釣氏
(他3人)、調査・研究
- 2月 3日(木) 九州大学大学院芸術工学府 金 球釣氏
(他1人)、調査・研究
- 2月 7日(月) 小木小学校 村川教諭、考古資料撮影
- 2月 9日(水) 石塚 一雄氏(資料寄託者) 見学
- 2月 17日(木) パネル設置
- 2月 21日(月) 澤田 敦氏(県文化行政課 埋文係長)、
石器資料実測等
- 3月 7日(月) 西教育事務所 本間局長、視察
- 3月 22日(火) 富山大学学生、石器資料実測等
- 3月 26日(土) 帆船海王丸クラブ中條弘子 取材・見学

6 佐渡植物園

- 4月 14日(水) 度津神社との協議
- 4月 22日(木) 春の山野草展準備会
- 4月 27日(火) 第1回佐渡植物園協議会、園内植生調査
- 5月 7日(金) 春の山野草展、会場準備
- 5月 8日(土) 春の山野草展(～9日)
- 6月 9日(水) 第1回友の会草刈り作業、ウチョウラン
展準備会、度津神社との協議
- 7月 2日(金) ウチョウラン展、会場準備
- 7月 3日(土) ウチョウランと山野草展(～4日)
- 7月 8日(木) 修学旅行生北信小学校5年生、見学
- 7月 27日(火) 現地研修会「巨木と美林の海府を訪ねて」
講師:中原英夫氏

- 8月 10日(火) 第2回友の会草刈り作業
- 9月 28日(火) 大文字草展準備会
- 10月 8日(金) 花菖蒲園、用土搬入
- 10月 12日(火) 花菖蒲園、耕耘
- 10月 19日(火) 羽茂保育園園児作品制作のため、大文字
草鉢搬入
- 10月 20日(水) 羽茂保育園石塚園長訪問、作品制作見学
- 10月 22日(金) 大文字草、会場準備
- 10月 23日(土) 大文字草と秋の山野草展(～24日)、
羽茂保育園園児絵画展・同時開催
- 11月 15日(月) 第四銀行南佐渡支店にて、羽茂保育園園
児絵画展開催(～12月12日)
- 12月 24日(金) 老人ホーム「はもちの里」にて、羽茂保
育園園児絵画展開催(～1月31日)
- 1月 19日(水) 植物園植生台帳(第1版)完成、校正作
業開始
- 2月 9日(水) 佐渡市役所社会福祉課と協議
- 2月 14日(月) 素浜海岸標柱、海岸占用更新
- 2月 23日(水) 第2回佐渡植物園協議会
- 3月 3日(木) 雪割草展準備会
- 3月 25日(金) 雪割草展、会場準備
- 3月 26日(土) 雪割草展と山野草展(～27日)

7 新穂歴史民俗資料館

- 4月 28日(水) 管理・受付業務打ち合わせ
- 5月 28日(金) 管理・受付業務打ち合わせ
- 6月 15日(火) 勾玉作り体験
- 6月 16日(水) 真野中学校 見学 11人
- 6月 26日(土) 新穂歴史民俗資料館 管理・受付業務打
ち合わせ
- 7月 25日(日) 佐渡市教育委員会社会教育課文化財室
資料調査のため来館
- 7月 28日(水) 管理・受付業務打ち合わせ
- 8月 27日(木) 管理・受付業務打ち合わせ
- 9月 22日(水) 新穂小学校6年生 見学 3人
- 9月 30日(木) 管理・受付業務打ち合わせ
- 10月 1日(金) 真野小学校 勾玉作り体験・見学 49人
- 10月 3日(日) ふるさと再発見の旅一行 見学 35人
- 10月 5日(火) 小倉小学校 裂き織り体験 6人
- 10月 11日(月) 新穂トキタ映え市対応
- 10月 17日(土) 新穂駅伝大会対応
- 10月 27日(水) 新穂中学校 総合学習 10人

10月 28日（木） 管理・受付業務打ち合わせ
11月 2日（火） 新穂小学校 見学 23人
11月 6日（土） 玉文化研究会 見学 34人
　　二宮小学校先生 下見 2人
11月 12日（金） 屋根トタン板を応急的に補修
11月 16日（火） 行谷小学校 見学 13人
11月 21日（日） 市民の方より菊の鉢植えを預かり玄関
　　に飾る
11月 24日（水） 二宮小学校 4年生 見学 35人
12月 1日（水）～2月 28日（月） 冬期休館
3月 1日（火） 開館再開

8 金井歴史民俗資料館

11月 22日（月） 考古資料調査
12月 6日（月） 金井吉井小学校見学
12月 9日（木） 金井小学校見学

9 明治紀念堂（開導館）

な し

VII 佐渡に関する図書・論文目録 平成 22 (2010) 年分

(書名・雑誌名(論文名)、著者・編者・監修者名等、版元の順)

- なるほど知図帳日本 2010、(宿根木・佐渡八十八ヶ所霊場・金と銀の島、佐渡・地図・佐渡の伝統風景 所収)、黒田茂夫、昭文社
- 佐渡短歌歳時記 第 5 集、佐渡短歌懇話会、佐渡短歌懇話会
- 中興乃名所あれこれ、中興史の会、中興史の会
- 佐渡加茂歌代幕末小誌余話、大畠利良、大畠利良
- 豊田を歩いて見よう、豊田誌研究会、豊田誌研究会
- まるごと佐渡ハンドブック 佐渡観光・文化検定公式ガイドブック、佐渡観光推進戦略会議 / 佐渡観光・文化検定実行委員会、新潟日報事業社
- 『能作書・覚習条条・至花道書』(岩波文庫)、世阿弥・野上豊一郎校訂、岩波書店
- 佐渡の原生林・霧が育てた森、佐渡市、佐渡市
- 別冊太陽 世阿弥、平凡社、平凡社
- 文覚 人物叢書 263、山田昭全、吉川弘文館
- 近世在方集住大工の研究(越後および佐渡の建築工匠リスト 所収)、高橋恒夫、中央公論美術出版
- 都市の文化と景観(佐渡金銀山 所収)、篠原 修、同成社
- 日本鑄金家協会創立百周年記念パネル展佐渡 記録集、日本鑄金家協会創立百周年記念パネル展佐渡実行委員会、日本鑄金家協会創立百周年記念パネル展佐渡実行委員会
- 現代語訳 吾妻鏡⑧承久の乱、五味文彦・本郷和人 編、吉川弘文館
- 佐渡金銀山 佐渡金山遺跡(北沢地区)旧佐渡鉱山工作工場群跡発掘調査報告書 佐渡金銀山遺跡調査報告書 13、佐渡市世界遺産推進課・佐渡市教育委員会、佐渡市世界遺産推進課・佐渡市教育委員会
- 黄金の島を歩く—佐渡金銀山の歴史と文化—(平成 20 年に出版されたものの再版)、佐渡市教育委員会世界遺産・文化振興課、新潟県教育庁文化行政課、新潟日報事業社
- 佐渡へんろ、佐渡八十八ヶ所霊場会、佐渡八十八ヶ所霊場会
- たらい舟 平成 21 年度 たらい舟職人養成講座 建造記録、小木たらい舟製作技術保存会、小木たらい舟製作技術保存会
- 新潟の木喰仏 微笑の仏に会いたい、新潟県観光協会、新潟県観光協会
- 鬼太鼓の鬼 世界をゆく、岩田 雅、佐渡ジャーナル社
- 新 体系日本史 4 政治社会思想史(古代の佐渡の国司申訴の事例が掲載されている)、宮地正人 他、山川出版社
- 「振矩術の関する調査研究」報告書、金子勉、佐渡市教育委員会 社会教育課 佐渡学センター
- 佐渡市総合計画～基本計画(後期)～ すべてを佐渡の未来と子どもたちのために、新潟県佐渡市企画財政部 企画振興課、新潟県佐渡市
- 世界遺産 縄文遺跡(佐渡海峡で引き揚げられた縄文土器 所収)、小林達雄、同成社
- 神に舞い民に舞う—越後・佐渡ゆかりの伝統芸能—〈開催プログラム〉、新潟県立歴史博物館、新潟県立歴史博物館
- 佐渡の海村風土記一片野尾誌一、片野尾郷土誌刊行委員会、片野尾郷土誌刊行委員会
- 日本海の至宝 新潟県立歴史博物館 開館 10 周年記念特別展(佐渡関係 所収)、新潟県立歴史博物館、新潟県立歴史博物館
- 海峡を越えて—佐渡と新潟 佐渡観光の歴史と新潟市の果たした役割をさぐる、新潟市歴史博物館、新潟市歴史博物館
- 海峡を越えて—佐渡と新潟 佐渡観光の歴史と新潟市の果たした役割をさぐる(佐渡の近代社会形成史 所収)、(本間恂一)、新潟市歴史博物館、新潟市歴史博物館
- 海峡を越えて—佐渡と新潟 佐渡観光の歴史と新潟市の果たした役割をさぐる(佐渡の観光開発 所収)、(石瀬佳弘)、新潟市歴史博物館、新潟市歴史博物館
- 佐渡金銀山 鶴子銀山遺跡分布調査報告書 佐渡金銀山遺跡調査報告書 14、佐渡市世界遺産推進課・佐渡市教育委員会、佐渡市世界遺産推進課・佐渡市教育委員会

- 『下久知郷土史編さん委員会たより 三号』、下久知郷土史編さん委員会、粕谷與志春、下久知郷土史編さん委員会
- 『下久知郷土史編さん委員会たより 三号』(下久知区有文書目録作成など資料調査の概要 所収)、斎藤寿一郎、下久知郷土史編さん委員会
- 『下久知郷土史編さん委員会たより 三号』(新穂境の西山入会について 所収)、後藤康志、下久知郷土史編さん委員会
- 『下久知郷土史編さん委員会たより 四号』、下久知郷土史編さん委員会 粕谷與志春、下久知郷土史編さん委員会
- 『下久知郷土史編さん委員会たより 四号』(平成二十二年の編さん委員会の活動 所収)、下久知郷土史編さん委員会 粕谷與志春、下久知郷土史編さん委員会
- 『下久知郷土史編さん委員会たより 四号』(下久知の神社・寺院・仏堂 所収)、下久知郷土史編さん委員会 粕谷與志春、下久知郷土史編さん委員会
- 『伝統的建造物群保存地区 歴史の町並』平成22年度(2010)版(宿根木 所収)、全国伝統的建造物群保存地区協議会、全国伝統的建造物群保存地区協議会
- 『図書』7月号(柿への旅—⑯ 佐渡へ佐渡へと 収録)、(坪内稔典) 岩波書店、岩波書店
- 『北海道れきけん』No.72(松浦武史郎はなぜ「佐渡」で短歌を一首も詠まなかったのか? 所収)、(今野淳子)、北海道歴史研究会
- 『武蔵野大学 能楽資料センター紀要』第21号([書評]『佐渡能楽史序説—現存能舞台三五棟』 所収)、(三浦裕子) 武蔵野大学能楽資料センター、武蔵野大学出版会
- 『百兵衛』No.13 新潟文化と和製ミケジャンレロ(佐渡関係 所収)、麗人社、麗人社
- 『現代宗教研究』第43号(日蓮正宗建立塚原跡碑について 所収)、小瀬修達、日蓮宗現代宗教研究所
- 『棚田学会誌 日本の原風景・棚田』第11号(車田と農耕儀礼 所収)、松原誠司、棚田学会
- 『KAZE』vol.210 2010 July(悠久と流れる時間を感じながら 佐渡島 所収)、NETWORK NEWS KAZE 編集室、NETWORK NEWS KAZE 編集室
- 『佐渡市における近世初期社寺建築と工匠に関する調査研究』、特定営利活動法人 佐渡文化財研究所、特定営利活動法人 佐渡文化財研究所
- 『Viewpoint』2010 2月号(通巻277号)(特有の文化生かしブランド育成 所収)、(高野宏一郎) 世界日報 月間ビューポイント編集部、世界日報東京本社(発行人 木下義昭)
- 『文学』1,2月号(南都律宗と能 所収)(世阿弥の記述がある)、(松岡新平)、岩波書店
- 『日本の美術』第529号 近世の芸能施設とその空間、至文堂、ぎょうせい
- 『日本の美術』第530号 近世の寺社建築—庶民信仰とその建築(佐渡蓮華峰寺骨堂 所収)、至文堂、ぎょうせい
- 『日本の美術』第531号 近世の住まいと屋敷構え、至文堂、ぎょうせい
- 『歴博』No.161 特集 黄金(「佐渡金銀山 所収)、(小田由美子) 国立歴史民俗博物館、国立歴史民俗博物館
- 『日本鉱業史研究』No.60(「佐渡鉱山の選鉱・精錬技術(明治以降閉山に至るまで)」所収)、(川北鎮雄・永松武彦)、日本鉱業史研究会
- 『能と狂言8』特集 世阿弥発見百年—吉田東伍の人と学問—、能楽学会、ペリカン社
- 『明治大学博物館研究報告』第15号(シナ布の流通とその利用の実態 所収)、(米村 創)、明治大学博物館
- 『VISA』8+9月号(佐渡島 宵闇の舞、佐渡能 所収)、VISA 編集室、VISA 編集室
- 『人間国宝 三人展 ~技と美の系譜~』(リーフレット)、(財)佐渡博物館、(財)佐渡博物館
- 『松井健一・本手描友禅遺作展』(リーフレット)、(財)佐渡博物館、(財)佐渡博物館
- 『にいがたの教育情報』季刊2010.12(佐渡鷺流狂言を子どもたちに伝えて 所収)、(本間裕亨)、にいがた県民教育研究所
- 『北一輝論』(ちくま文庫)、松本清張、筑摩書房
- 『増補 日蓮入門 現世を擊つ思想』(ちくま学芸文庫)、末木文美士、筑摩書房
- 『うまさぎっしり新潟 観光通信』2010年3月—6月(微笑みの木喰仏 所収)、(社)新潟県観光協会、(社)新潟県観光協会
- 『うまさぎっしり新潟 観光通信』2010年夏 vol.45、(社)新潟県観光協会、(社)新潟県観光協会
- 知っておきたい新潟県の歴史、(田中 聰) 知っておきたい新潟県の歴史編集委員会、新潟日報事業社

- 『季刊 しま』No.223 2010.9 特集 海と島の日本（島の生態系を守り、未来を拓く 佐渡一知られざる杉の原生林 所収）、（鈴木さわこ）（財）日本離島センター広報課、財団法人日本離島センター
- 『季刊 しま』No.223 2010.9 特集 海と島の日本（「しま」の風景 第十一景 所収）、（佐藤利夫）（財）日本離島センター広報課、財団法人日本離島センター
- 『佐渡金銀山に関わる資料をヨーロッパに訪ねて』、新潟大学旭町学術資料展示館（監修：橋本博文）、（株）考古堂書店
- 『佐渡金銀山に関わる資料をヨーロッパに訪ねて』（開会の挨拶 所収）、新潟大学旭町学術資料展示館（新潟大学 学長 下條 文武）、（株）考古堂書店
- 『佐渡金銀山に関わる資料をヨーロッパに訪ねて』（趣旨説明 所収）、新潟大学旭町学術資料展示館（人文学部 教授 橋本 博文）、（株）考古堂書店
- 『佐渡金銀山に関わる資料をヨーロッパに訪ねて』（オランダの調査から 所収）、新潟大学旭町学術資料展示館（人文学部 教授 池田哲夫）、（株）考古堂書店
- 『佐渡金銀山に関わる資料をヨーロッパに訪ねて』（イギリスの調査と博物館の今後 所収）、新潟大学旭町学術資料展示館（教育学部 准教授 丹治 嘉彦）、（株）考古堂書店
- 『佐渡金銀山に関わる資料をヨーロッパに訪ねて』（オーストラリア、ドイツ、チェコ、スロバキアの調査結果 所収）、新潟大学旭町学術資料展示館（人文学部 教授 橋本 博文）、（株）考古堂書店
- 『佐渡金銀山に関わる資料をヨーロッパに訪ねて』（質疑応答・閉会の挨拶 所収）、新潟大学旭町学術資料展示館（新潟大学 理事 仙石 正和）、（株）考古堂書店
- 『佐渡金銀山に関わる資料をヨーロッパに訪ねて』（謝辞 所収）、新潟大学旭町学術資料展示館、（株）考古堂書店
- 『国立歴史民俗博物館研究報告 第156号』[共同研究]（「宗教」の資源化・商品化・再日常化 所収）、門田岳久、国立歴史民俗博物館
- 『歴史と民俗』26 神奈川大学日本常民文化研究所（近代における犁の普及について 所収）、香月洋一郎（神奈川大学日本常民文化研究所編）、平凡社
- 『日本歴史』5月号（文化財調査レポート 新潟県佐渡金銀山遺跡の近年の調査結果 所収）、（若林篤男・宇佐見亮）日本歴史学会、吉川弘文館
- 『信濃』第62巻第6号（新潟県地方史研究の動向 所収）、石原正敏・前嶋 敏・渡部浩二・田邊 幹・池田哲夫、信濃史学会
- 『新潟考古』第21号（佐渡島における黒曜石産出地と原石について）、（関 雅之・計良勝範）、新潟県考古学会
- 『新潟県生物教育研究会誌』第45号（特別天然記念物・国際保護鳥の指定を受けているトキについて—日本産（佐渡島）トキの絶滅の原因と明治・大正・昭和20年のトキの状況— 所収）、矢田政治、新潟県生物教育研究会
- 『立正大学院年報』第27号（「日興文書にみる日興と弟子檀越」 所収）、本間俊文、立正大学大学院
- 『仏教学論集』No.27（「日興本尊授与書にみる日興とその門弟」 所収）、本間俊文、立正大学大学院仏教研究会
- 『月刊みんぱく』2月（フィールドで考える 旅をしていた日々の記憶 所収）、門田岳久、国立歴史民俗博物館
- 『季刊 しま』No.220 2010.1（「しま」の原風景 第8景 ゆきかう人びと 所収）、佐藤利夫、（財）日本離島センター
- 『埋文にいがた』No.70（県内の遺跡・遺物 68 真野古墳群 所収）、（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団、（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 『新潟の生活文化』No.16（近世佐渡鉱山文化と外国人の認識—世界史的位置付けの基礎作業— 所収）、（竹田 和夫）、新潟県生活文化研究会誌
- 『調査研究報告』第30号（佐渡博物館蔵『伊勢物語』一解題・影印一 所収）、藤島 綾、国文学研究資料館 調査収集事業部
- 『佐渡ジャーナル』第22号、佐渡ジャーナル社、佐渡ジャーナル社
- 『市報さど』1月号（佐渡市歴史的建造物悉皆調査⑪ 小木地区 所収）、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係
- 『市報さど』2月号（佐渡市歴史的建造物悉皆調査⑫ 羽茂・赤泊地区 所収）、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係
- 『市報さど』3月号（佐渡市歴史的建造物悉皆調査⑬ 両津地区 所収）、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係

- 『市報さど』4月号(国史跡 佐渡金銀山遺跡 吹上海岸石切場跡 所収)、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係
- 『市報さど』5月号(国史跡 佐渡金山遺跡「旧佐渡鉱山の施設群」大立地区 所収)、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係
- 『市報さど』6月号(シンポジウム「佐渡金銀山の魅力と世界遺産登録に向けて」所収)、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係
- 『市報さど』7月号(シンポジウム「佐渡金銀山の魅力と世界遺産登録に向けて」国史跡 佐渡金山遺跡間ノ山・高任地区 所収)、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係
- 『市報さど』8月号(国史跡 佐渡金銀山遺跡 北沢地区 所収)、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係
- 『市報さど』9月号(国史跡 佐渡金銀山遺跡 戸地地区 所収)、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係
- 『市報さど』10月号(県有形文化財 味方家所蔵鉱山関連資料 所収)、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係
- 『市報さど』11月号(世界遺産国際シンポジウム「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」
—世界の中で佐渡だけの価値を、自分たちの遺産として—)、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係
- 『市報さど』12月号(鶴子銀山関係遺跡の発掘調査 所収)、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係、佐渡市役所 企画情報課広報広聴係
- 『トキめきプレス 佐渡 新潟日報』No.2(日曜随想 黄金の島を訪ねて①)、(小田由美子)新潟日報佐渡支局、新潟日報佐渡支局
- 月刊「鼓童」7月号(追悼 本間雅彦先生 所収)、鼓童文化財団、鼓童文化財団
- 『ANIMATE』第8号(佐渡島から得られたニホンジネズミについて 所収)、佐藤春雄・吉行瑞子
- 『柏崎市立博物館 館報』第24号(新潟・佐渡沿岸における海産爬虫類の漂着記録再調 所収)、本間義治・箕輪一博・青柳 彰・中村幸弘・野村卓之、柏崎市立博物館
- 『えール』第4号(特集 佐渡・鬼太鼓入門 所収)、佐渡市
- 『えール』第5号(特集 千石船とともに生きる村 所収)、佐渡市
- 『UP』1月号(「書く世阿弥」との対峙—西平直著『世阿弥の稽古哲学』に寄せて 所収)、天野文雄、東大出版会
- 『佐渡・越後文化交流史研究』第10号、新潟大学大学院現代社会文化研究科 新潟大学人文学部 プロジェクト
- 『佐渡・越後文化交流史研究』第10号(論文 佐渡島山村村落の同輩間ユイー笛川地区のイイ慣行— 所収)、(小野博史)、新潟大学大学院現代社会文化研究科 新潟大学人文学部 プロジェクト
- 『佐渡・越後文化交流史研究』第10号(資料紹介 佐渡と宮本常一—地方の民俗研究家との交流 所収)、(池田哲夫)、新潟大学大学院現代社会文化研究科 新潟大学人文学部 プロジェクト
- 『佐渡・越後文化交流史研究』第10号(報告 新潟大学考古学研究室2008年度佐渡調査報告書(補遺) 所収)、(五十嵐一樹・菊地真・橋本博文・竹原弘展)、新潟大学大学院現代社会文化研究科 新潟大学人文学部 プロジェクト
- 『佐渡地域誌研究』第8号、佐渡地域誌研究会、佐渡地域誌研究会
- 『佐渡地域誌研究』第8号(ここに師あり—石瀬佳弘先生と郷土学習教育— 所収)、(小林祐玄)、佐渡地域誌研究会
- 『佐渡地域誌研究』第8号(石瀬佳弘氏の佐渡史研究について 所収)、(本間恂一)、佐渡地域誌研究会
- 『佐渡地域誌研究』第8号(石瀬佳弘先生の歩んできた道 所収)、(北見継仁)、佐渡地域誌研究会
- 『佐渡地域誌研究』第8号(佐渡・高千・入川川の鮎捕り 所収)、(仲田善夫)、佐渡地域誌研究会
- 『佐渡地域誌研究』第8号(佐渡おけさ風評譚 正調・佐渡おけさ成立もキーワード 所収)、(古藤宗雄)、佐渡地域誌研究会
- 『佐渡地域誌研究』第8号(佐渡教会をめぐる人びと—佐渡プロテスタント伝道の百年(その7)— 所収)、(渡辺信吾)、佐渡地域誌研究会
- 『佐渡地域誌研究』第8号(佐渡の山々 その3—金北山周辺と檀特山— 所収)、(竹村博道)、佐渡地域誌研究会

- 『佐渡地域誌研究』第8号(『総合的な学習の時間の目標に迫る単元構成と指導のあり方～問題解決力を高める探求的な単元づくり～ 所収)、(佐渡市立小木小学校 五島達雄)、佐渡地域誌研究会
- 『新潟県立歴史博物館研究紀要』第11号、新潟県立歴史博物館、新潟県立歴史博物館
- 『新潟県立歴史博物館研究紀要』第11号(古代北陸道越後佐渡路に関する諸問題 所収)、(浅井勝利)、新潟県立歴史博物館
- 『新潟県立歴史博物館研究紀要』第11号(新潟県の布製背中当とその地域差 所収)、(陳 玲)、新潟県立歴史博物館
- 『新潟県立歴史博物館研究紀要』第11号(「板倉金山絵巻」と佐渡金銀山絵巻 所収)、(渡部浩二)、新潟県立歴史博物館
- 『新潟県考古学連絡紙』第85号、新潟県考古学会、新潟県考古学会
- 『新潟県考古学連絡紙』第85号(江戸・文化年間の佐渡産黒曜石の木版挿絵について 所収)、(関 雅之)、新潟県考古学会
- 『新潟県考古学連絡紙』第85号(佐渡金銀山の世界遺産登録にむけて 所収)、(北村 亮)、新潟県考古学会
- 『新潟県考古学連絡紙』第85号(佐渡金銀山遺跡近年の調査成果 所収)、(宇佐見 亮)、新潟県考古学会
- 『新潟県考古学連絡紙』第85号(佐渡市における埋蔵文化財保護行政の現状 所収)、(川村 尚)、新潟県考古学会
- 『佐渡学センターだより』第1号、佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター、佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
- 『佐渡学センターだより』第1号(あいさつ)、(石瀬佳弘)、佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
- 『佐渡学センターだより』第1号(写真だより 神子岩 所収)、(池田雄彦)、佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
- 『佐渡学センターだより』第1号(両津郷土博物館の紹介 所収)、(須藤洋行)、佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
- 『佐渡学センターだより』第1号(新収蔵資料の紹介 所収)、(野口敏樹)、佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
- 『佐渡学センターだより』第1号(文化財散歩道 新穂地区潟上牛尾神社 所収)、(山口忠明)、佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
- 『佐渡学センターだより』第1号(掲示板 平成21(2009)年に佐渡で刊行された主な出版物 所収)、(北見継仁)、佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
- 『佐渡学センターだより』第1号(企画展のご案内)、(宇治美徳)、佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
- 『佐渡学センターだより』第1号(編集後記)、(池田雄彦)、佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
- 『佐渡学センターだより』第2号、佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター、佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
- 『佐渡学センターだより』第2号(「大地の遺産」の保存と活用 所収)、(渡邊剛忠)、佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
- 『佐渡学センターだより』第2号(写真だより 国指定天然記念物「平根崎の波蝕甌穴群」 所収)、(池田雄彦)、佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
- 『佐渡学センターだより』第2号(相川郷土博物館の紹介 所収)、(山口忠明)、佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
- 『佐渡学センターだより』第1号(文化財散歩道 両津地区 久知河内と長安寺 所収)、(野口敏樹)、佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
- 『佐渡学センターだより』第2号(ジオパーク講座「偏光顕微鏡の作成」第4回内容 所収)、(神蔵勝明)、佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
- 『佐渡学センターだより』第2号(ジオパーク講座の内容 所収)、(池田雄彦)、佐渡市教育委員会文化振興室 佐渡学センター
- 『佐渡学センターだより』第2号(掲示板 平成22(2010)年に佐渡で刊行された主な出版物 所収)、(須藤洋行)、佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
- 『佐渡学センターだより』第2号(企画展のご案内)、(宇治美徳)、佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
- 『佐渡学センターだより』第2号(編集後記)、(池田雄彦)、佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター

- 『平成21年度 佐渡市教育委員会 佐渡学センタ一年報』創刊号(I 佐渡学センター設置までの経緯 所収)、佐渡市教育委員会 佐渡学センター、佐渡市教育委員会 佐渡学センター
- 『平成21年度 佐渡市教育委員会 佐渡学センタ一年報』創刊号(II 管理運営の状況 所収)、佐渡市教育委員会 佐渡学センター、佐渡市教育委員会 佐渡学センター
- 『平成21年度 佐渡市教育委員会 佐渡学センタ一年報』創刊号(III 事業内容)、佐渡市教育委員会 佐渡学センター、佐渡市教育委員会 佐渡学センター
- 『平成21年度 佐渡市教育委員会 佐渡学センタ一年報』創刊号(IV 関係団体 所収)、佐渡市教育委員会 佐渡学センター、佐渡市教育委員会 佐渡学センター
- 『平成21年度 佐渡市教育委員会 佐渡学センタ一年報』創刊号(V 受贈・購入図書 所収)、佐渡市教育委員会 佐渡学センター、佐渡市教育委員会 佐渡学センター
- 『平成21年度 佐渡市教育委員会 佐渡学センタ一年報』創刊号(VI 日誌抄 所収)、佐渡市教育委員会 佐渡学センター、佐渡市教育委員会 佐渡学センター
- 『平成21年度 佐渡市教育委員会 佐渡学センタ一年報』創刊号(VII 佐渡に関する図書・論文目録 平成21(2009年分) 所収)、佐渡市教育委員会 佐渡学センター、佐渡市教育委員会 佐渡学センター
- 『平成21年度 佐渡市教育委員会 佐渡学センタ一年報』創刊号(編集後記 所収)、佐渡市教育委員会 佐渡学センター、佐渡市教育委員会 佐渡学センター
- 『佐渡金銀山だより』Vol.1、新潟県・佐渡市、新潟県・佐渡市
- 『佐渡金銀山だより』Vol.1(ごあいさつ)、新潟県・佐渡市、新潟県・佐渡市
- 『佐渡金銀山だより』Vol.1(今、なぜ世界遺産なのか)、新潟県・佐渡市、新潟県・佐渡市
- 『佐渡金銀山だより』Vol.1(特集 国指定史跡佐渡金銀山遺跡「旧佐渡鉱山の施設群」)、新潟県・佐渡市、新潟県・佐渡市
- 『佐渡金銀山だより』Vol.1(調査・整備情報「旧佐渡鉱山の近代遺跡」を整備しました 他)、新潟県・佐渡市、新潟県・佐渡市
- 『佐渡金銀山だより』Vol.1(国際シンポジウム「絵巻から見える佐渡金銀山」)、新潟県・佐渡市、新潟県・佐渡市
- 『佐渡金銀山だより』Vol.1(平成21年度の活動状況 他)、新潟県・佐渡市、新潟県・佐渡市
- 『佐渡金銀山だより』Vol.2、新潟県・佐渡市、新潟県・佐渡市
- 『佐渡金銀山だより』Vol.2(親子で歩く世界遺産(西三川編)～笹川で砂金山採り体験～)、新潟県・佐渡市、新潟県・佐渡市
- 『佐渡金銀山だより』Vol.2(世界遺産暫定一覧表単独記載決定 金を中心とする佐渡鉱山の遺産群)、新潟県・佐渡市、新潟県・佐渡市
- 『佐渡金銀山だより』Vol.2(シンポジウム「佐渡金銀山の魅力と世界遺産登録に向けて)、新潟県・佐渡市、新潟県・佐渡市
- 『佐渡金銀山だより』Vol.21(国際会議で佐渡金銀山をPR)、新潟県・佐渡市、新潟県・佐渡市
- 『佐渡金銀山だより』Vol.2(仲間になりませんか)、新潟県・佐渡市、新潟県・佐渡市
- 『佐渡金銀山だより』Vol.2(委員会設置・今後のイベント情報)、新潟県・佐渡市、新潟県・佐渡市
- 『佐渡郷土文化』No.122、山本修巳、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.122(「ほこり」と「ほゑ」—山本家九世半蔵・慊 手沢本『差分 全』によせて— 所収)、金子勉、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.122(庄野潤三先生の「佐渡」 所収)、松田正三、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.122(「加茂湖」はいつから加茂湖と記されたか 所収)、伊藤正一、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.122(本間真珠・山本修巳編著『佐渡びとの道中記—山本慊n近代見聞録』の刊行にふれて 所収)、田中 聰、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.122(世阿弥元清供養塔建立記念式 所収)、山本修巳、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.122(悪霊 北一輝異聞(連載小説 第三回)第一部 逆光の屈ぎ) 所収)、中川芳郎、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.122(佐渡航海史要・拾(二) 占魁丸と沢根港 所収)、風間 進、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.122(真野の能楽「檀風」とその周辺一日野資朝と生田秀一平成二十年 旧家と骨董めぐり 秋の茶会歴史講話会 所収)、山本修巳、佐渡郷土文化の会

- 『佐渡郷土文化』No.122(百九十一年ぶり真野新町 山本半右衛門家墓所改築 所収)、山本修巳、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.122(宗忍独吟千句連歌 翻刻(一〇)、大野温子、佐渡郷土文化の会)
- 『佐渡郷土文化』No.122(父をたどるの記(十) -『兵われは』戦地詠 その五一 所収)、藤川 滋、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.122(國々名所記) -正徳五年 佐州新町 山本半右衛門一 所収)、本間眞珠、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.122(各地の俳句・短歌会 所収)、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.122(山本半右衛門家九世半蔵・慊の実父 所収)、山本修巳、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.122(文学者の来島 所収)、山本修巳、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.122(俳句鑑賞 所収)、中者正機・藤井青咲、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.122(江戸期の商家の跡目 所収)、山本修巳、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.122(佐渡びとの西国への旅 -「國々名所記」 - 所収)、山本修巳、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.122(カットのことば 所収)、長嶋陽二、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.122(編集後記 所収)、山本修巳、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123、山本修巳、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(山本半右衛門家伝来の試金石 所収)、計良勝範、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(佐渡市羽茂「仮屋の棚人形」のかしら 所収)、加納克己、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(山本半右衛門家墓所改築 所収)、山本修巳、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(山本家の墓所改築の所管 所収)、佐藤利夫、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(上田三四二と佐渡 所収)、寺島雅範、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(悪霊 北一輝異聞(連載小説 第4回)第1部 逆光の凪ぎ 所収)、中川芳郎、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(山本修巳句集『花麝香』序に代えて 所収)、星野麥丘人、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(山本修巳句集『花麝香』跋 所収)、大石悦子、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(山本修巳句集『花麝香』の温み 所収)、酒井友二、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(山本修巳句集『花麝香』を読む 所収)、本間眞珠、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(限りなく清澄な優しさ -『花麝香』を読んで - 所収)、中川芳郎、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(佐渡へ 所収)、加藤瑠璃子、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(佐渡の柿と宮柊二 所収)、仙田善雄、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(佐渡航海史要・拾(三) 新潟丸の拝借人達 所収)、風間 進、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(各地の俳句・短歌会 所収)、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(句集『花麝香』誤植・訂正 所収)、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(-新刊紹介- 酒井友二著『蔓葉集雑感』 所収)、塩井三作、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(世界遺産石見銀山視察の旅 所収)、山本修巳、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(俳句鑑賞 所収)、星野麥丘人、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(初の佐渡市名誉市民称号授与式 浅島誠・伊藤窯一(五代目伊藤赤水)・故三浦小平二氏に 所収)、山本修巳、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(カットのことば 所収)、長嶋陽二、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.123(編集後記 所収)、山本修巳、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.124、山本修巳、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.124(中宮寺門跡と日野資朝卿のゆかりの地をめぐる 所収)、山本修巳、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.124(佐渡の地に先祖日野資朝卿の史跡を訪ねて詠める 所収)、中宮寺門跡 日野西光尊、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.124(山本修巳氏著『句集 花麝香』をひもといて 所収)、清田文武、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.124(山本修巳氏著『句集 花麝香』出版をひもといて 所収)、平手ふじえ、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.124(佐渡・藤津遺跡出土の「須恵器の馬頭」への疑問 所収)、関 雅之、佐渡郷土文化の会

- 『佐渡郷土文化』No.124(ダイナイ爺のこと—笛川砂金山余話— 所収)、本間隆市、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.124(悪靈北一輝異聞(連載小説 第5回) 第1部 逆光の凧ぎ 所収)、中川芳郎、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.124(佐越航海史要拾遺(四) 佐渡商船 所収)、風間進、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.124(父をたどるの記(十二)—『兵われは』戦地詠 その七— 所収)、藤川滋、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.124(順徳院黒木御所例大祭 記念講演資料—平成二十二年七月十二日(月)—「父後鳥羽院崩御より順徳院のご最後まで」 所収)、山本修巳、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.124(山本修巳俳句集『花麝香』出版祝賀会 所収)、佐渡郷土文化の会、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.124(各地の俳句・短歌会 所収)、佐渡郷土文化の会、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.124(俳句鑑賞 所収)、小笠原和男・仲田益子、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.124(受贈書から 所収)、田中要、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.124(自然体の俳句 所収)、山本修巳、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.124(第一句集『花麝香』自選八句 所収)、山本修巳、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.124(カットのことば 所収)、長嶋陽二、佐渡郷土文化の会
- 『佐渡郷土文化』No.124(編集後記 所収)、山本修巳、佐渡郷土文化の会
- 『島の新聞』第43号～第54号、島の新聞社(長野雅子)、島の新聞社

(次長 北見継仁)

編集後記

年報の編集に取りかかった時に、マグニチュード 9.0 という未曾有の地震「東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）」が発生しました。津波による被害は、想像を絶するばかりです。過去の最大の津波データから防災設定をした地域でしたが、想定外の大津波に防波堤も全く用をなさなかったのです。また、地震により発生した福島第1原子力発電所の事故も「想像を絶することが起こった…」とテレビから何度も流れ続けました。とにかく驚くべき大災害・大事故でした。この地震で被害に遭われた多くの皆さんに哀悼の意を表します。

この地震の発生時、妙宣寺の五重塔を撮影をしていました。変に身体がふわふわしたので、一瞬体調がおかしくなったのかと思った直後、五重塔がぎしぎしと大きな音を出し揺れ始めました。はじめて地震であることに気付きました。地震が収まってから、お寺の方も五重塔の瓦が落ちのではと心配して駆けつけてこられた。あれだけ音を出して揺れたにもかかわらず、被害は何一つありませんでした。さすが、江戸時代後期から、これまで何回かの大地震を耐えてきた五重塔です。歴史的知識も弱いのですが、地震で倒壊した五重塔の記憶はありません。佐渡独自の構造をもった五重塔でありながら、地震を考慮した建造物とした先人の知恵に改めて感心させられました。

今回の地震では、津波や津波と同時に火災も発生しています。災害は、いつ起るか分りません。今後も想定外の災害が発生するかも知れません。佐渡には、妙宣寺五重塔のように、歴史的、文化的価値の高いものが大変多くあり、これらの保存が大切です。現在、佐渡学センターは、紙ベースやフィルム類が中心ではありますが、稀少な古文書等をデジタル化して後世に残す取り組みをしています。この地震を通して、これが将来のために役立つ重要な業務の一部であることを再認識させられました。同様に佐渡学センターの地道な諸事業を推進、貫徹することが未来に生きると信じています。

最後になりましたが、所員の協力により、本年度の佐渡学センター業務記録をまとめてご報告できますことを嬉しく思います。

(池田雄彦)

佐渡学センタ一年報 第2号 (平成22年度版)

■発行日 平成23年3月31日

■編集・発行 佐渡学センター

〒952-0021

新潟県佐渡市秋津1596 両津郷土博物館内
TEL 0259-23-2100

■電子出版 佐渡学センター

<http://www.sadocity.niigata.jp/sadobunka/denbun/>

■非売品

